

令和5年度

七教第23-299号

令和5年度向洋中学校図書室改修工事

公開数量内訳書

<取扱上の注意事項>

- 1 本内訳書に記載されている数量は参考数量であり、本内訳書は工事請負契約書に記載される設計図書には含まれない。
- 2 公開数量は、設計変更や出来高計算等の対象数量となるものではない。
- 3 公開数量は、公共建築工事積算基準、公共建築数量積算基準及び公共建築設備数量積算基準の最新版に準拠している。
- 4 本内訳書に疑義があるときは、公開数量に関する質問書に入札参加予定者が自ら作成した内訳及びその根拠（部位別及び階別の集計表）を明示した数量見積書を添付して質問することができる。（細目は、工事担当に問い合わせのこと。）

七ヶ浜町

(数量公開用)



積算総括表

工事名	令和5年度向洋中学校図書室改修工事		
工事費	金 円(消費税を含む)		
工事日数			
項目	名称	金額 (円)	摘要
A	直接工事費		
B	共通仮設費		
C	純工事費		
D	現場管理費		
E	工事原価		
F	一般管理費等		
G	同上(契約保証費)		
H	工事価格合計		
	改め		
	消費税等相当額		
	総 合 計		

# 共 通 費

主たる工事の種別	工事種目	直接工事費(A)	共通仮設費(B)			純工事費(C)	
			共通仮設費率	補正率	共通仮設費		
建築工事（改修）	一般工事						
	鉄骨工事						
	その他工事	家具・書架等 造園装し 舗装 壊し その他					
	共通仮設費(積上分)						
	現場管理費(積上分)						
	小計						
	発生材処分費						
	合計						
	工事種目			現場管理費(D)			工事原価(E)
				現場管理費率	補正率	現場管理費	
	一般工事						
	鉄骨工事						
	その他工事	家具・書架等 造園装し 舗装 壊し その他					
	共通仮設費(積上分)						
	現場管理費(積上分)						
	小計						
	発生材処分費						
	合計						

工事番号 七教第23-299号  
 工事名称 令和5年度向洋中学校図書室改修工事  
 発注者 七ヶ浜町

工 期 \_\_\_\_\_  
 監督員事務所の有無 \_\_\_\_\_ 無し \_\_\_\_\_  
 前払金支出割合による一般管理費の補正 \_\_\_\_\_  
 前払い金支出割合 \_\_\_\_\_  
 契約保証費の有無 \_\_\_\_\_ 有り \_\_\_\_\_  
 消費税 率 \_\_\_\_\_

一般管理費等(F)		
一般管理費等率	補正率	一般管理費
契約保証費(G)		
工事価格(H)=(E)+(F)+(G) (税抜き)		
	改め	
消費税相当額		
工事価格(税込み)		
	(税込み)	







# 明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
(2) (改修)						
軽量鉄骨下り壁下地	100型 @450 下地張りあり	52.4	m			
軽量鉄骨下り壁下地	19形 H=100	10.3	m			
壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理(GL工法)	10.3	m			
下り壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 継目処理(LGS面)	2.2	m			
下り壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚12.5 不燃 素地仕上(LGS面)	17.1	m			
下り壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚15 不燃 継目処理(LGS面)	24.8	m			
下り壁 せつこうボード張り	(GB-R)厚15 不燃 素地仕上(LGS面)	61.8	m			
軽量鉄骨天井下地	19形 @225 下地張りなし ふところ1.5m未満	12.9	m			
軽量鉄骨天井下地	19形 @225 下地張りなし ふところ1.5m以上2.5m未	120.0	m			
既存インサート引抜き試験費	荷重:400N	3.0	か所			
天井 化粧せつこうボード張り	(GB-D)厚9 準不燃 突付けトラバ-チ	133.0	m			
天井廻縁	ビニル吸震見切 W50×H35 ジョイント、出隅・入隅役物共	82.7	m			
天井廻縁	塩ビ製	4.5	m			
天井廻縁(R加工)	塩ビ製	9.0	m			
下り壁見切縁	死集成材 145×25	5.7	m			
下り壁見切縁	死集成材 150×25	16.6	m			
下り壁見切縁	塩ビ製	10.3	m			
天井点検口	450角 アルミ製 一般タイプ 内外枠共額縁	5.0	か所			
木製棚 取外し・再取付	W1,680×D500×H1,100 W1,200×D300×H675 W1,200×D300×H675 W2,100×D500×H1,100	1.0	式			
床置き本棚等 移設・再設置	床置き本棚、その他家具等		人工			
床補修 タイルカーペット撤去	接着剤の除去含む	12.1	m2			
床補修 タイルカーペット張り	500×500	12.1	m2			
床補修 薄塗仕上げ		1.1	m2			
間仕切壁設置	材工共					
PT-1	W4,385×H2,475×D80	1.0	か所			
PT-2	W10,335×H2,475×D80	1.0	か所			
PT-3	W1,827×H2,475×D80	1.0	か所			
(小々計)						
(小計)						







# 明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
B 電気設備工事費						
1 電気設備工事						
ケーブル	EM-EEF 1.6 - 2C ころがし	18	m			
ケーブル	EM-EEF 1.6 - 3C ころがし	40	m			
ケーブル	EM-EEF 1.6 - 3C 管内	5	m			
ケーブル	EM- HP1.2 - 2C ころがし	6	m			
ケーブル	EM- HP1.2 - 3C ころがし	3	m			
ケーブル	EM- HP1.2 - 3C 管内	3	m			
ケーブル	EM- AE0.9 - 4C ころがし	15	m			
照明器具	LRS6-4-65	16	個			
照明器具	LRS3-4-37	2	個			
照明器具	LRS1-08	4	個			
アウトレットボックス	中四角浅型	8	個			
一種金属線び	1 個用スイッチボックスA型	1	個			
一種金属線び	1 個用スイッチボックスB型	1	個			
一種金属線び	(MM1A)	6	m			
一種金属線び	(MM1B)	3	m			
取外し再取付	熱感知器	4	個			
取外し再取付	天井埋込スピーカ	2	個			
取外し再取付	アッテネーター	1	個			
取外し再取付	埋込スイッチ1P15A×2 +3W15A×1	1	個			
取外し再取付	防犯用空間センサー	1	個			
撤去	電線管(19)	21	m			
撤去	VVF1.6 - 2C ころがし	18	m			
撤去	VVF1.6 - 3C 管内	3	m			
撤去	VVF1.6 - 3C ころがし	52	m			
撤去	HP1.2 - 3C 管内	2	m			
撤去	HP1.2 - 2C 管内	6	m			
撤去	HP1.2 - 3C ころがし	3	m			
撤去	AE0.9 - 4C 管内	15	m			
撤去	直付けFL401	16	個			
撤去	埋込型FL401	2	個			







# 令和5年度向洋中学校図書室改修工事

## 図面リスト

意匠図			電気設備図			機械設備図		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	-	E-01	電気設備改修工事特記仕様書	-	M-01	暖房設備図 2階図書室 平面図	1:100
A-01	改修工事特記仕様書(1)	-	E-02	電気設備 2階改修図(改修前)	1:100			
A-02	改修工事特記仕様書(2)	-	E-03	電気設備 2階改修図(改修後)	1:100			
A-03	改修工事特記仕様書(3)	-						
A-04	改修工事特記仕様書(4)	-						
A-05	案内・配置図	1:500						
A-06	2階 平面図	1:200						
A-07	改修後 図書室 平面詳細図	1:50						
A-08	改修前 図書室 天井伏図	1:50						
A-09	改修後 図書室 天井伏図	1:50						
A-10	改修後 図書室 天井地下伏図(参考)	1:30, 50						
A-11	改修後 図書室 下り壁下地図(参考)	1:50						
A-12	改修前・後 図書室 断面詳細図(1)	1:10, 50						
A-13	改修前・後 図書室 断面詳細図(2)	1:50						
A-14	改修前・後 図書室 展開図	1:50						
A-15	パネーション詳細図(1)(参考)	1:50						
A-16	パネーション詳細図(2)(参考)	1:5						
A-17	パネーション詳細図(3)(参考)	1:5						
A-18	仮設計画図	1:300						

		令和5年度向洋中学校図書室改修工事	設計図	図面名 表紙・図面リスト	図面種別 A
				縮尺 S=1:・・・(A4版 50%縮小)	図面番号 00

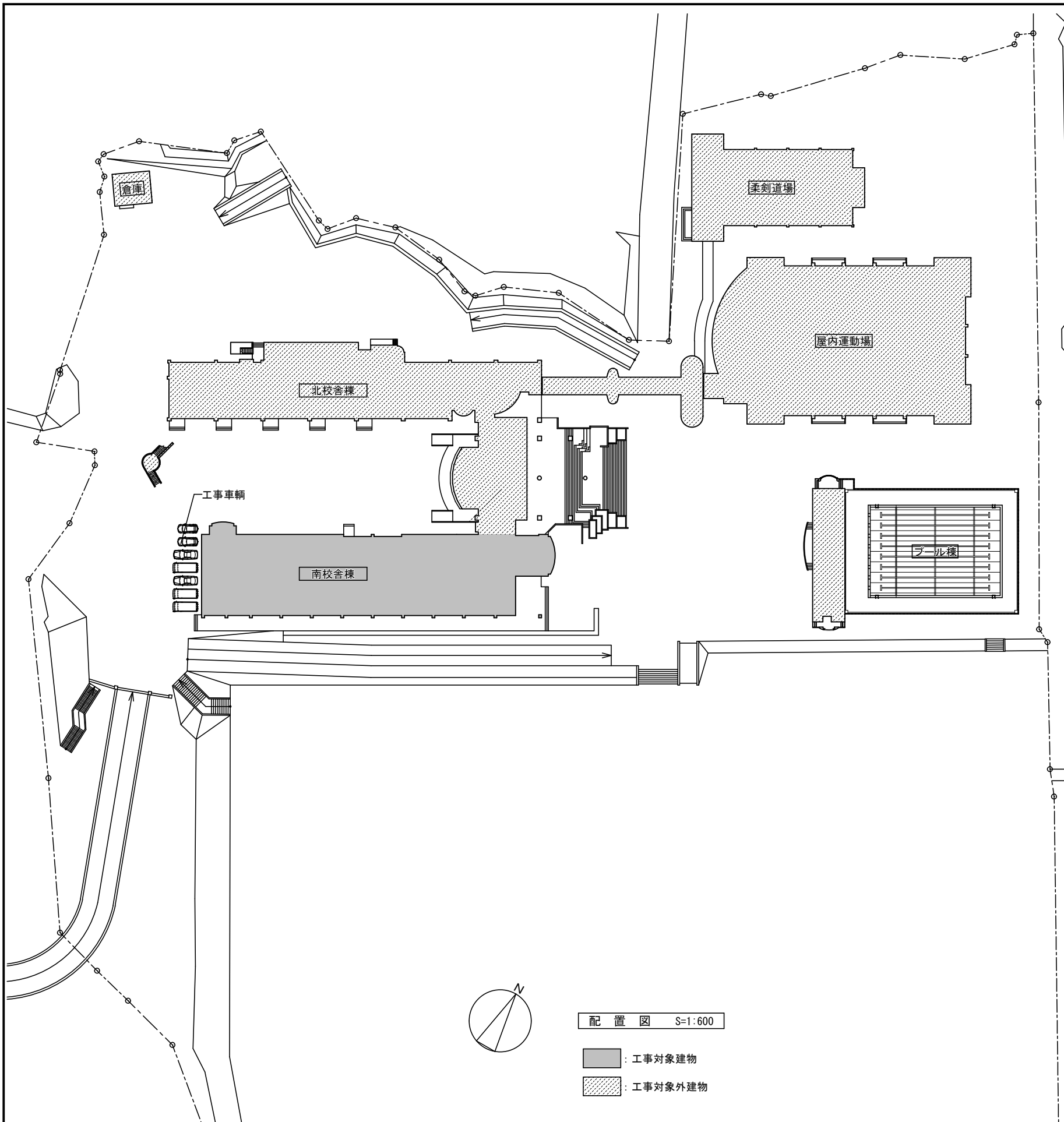




3	9. ルーフドレン	※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する <3.8.3>	4	3. 浮き部改修	・モルタル塗り仕上げ <4.4.4><4.4.8~15>	4	6. 外壁用塗膜防水材塗り	<4.1.5><4.2.2><4.8.2><4.2.6>	5	6. 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット <5.5.2~4><表5.5.1> ※使用する(適用箇所は図示による) 気密性 ※ A-3 使用しない
	10. アルミニウム製笠木	部材の種類 <3.9.2><表3.9.1> ・ 押出 250形 ・ 押出 300形 ・ 押出 350形 ・ 板材折曲げ形(・オープン形式 ・ シール形式) 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 表面処理 <3.9.2><表5.2.2> ※ BB-1種 ・ BB-2種		外壁改修工事	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※16・※25 ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※13・※20 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※13・※12・※20		外壁改修工事	外壁用塗膜防水塗りの仕上げの形状 ・ 工法 ・ 外壁用塗膜の耐候性 ・ 適用する ・ 適用しない ※JIS A 6909の耐候性1種相当 下地準動緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない 吹付け工法の仕様材の種類 ・ 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) 外壁用仕上げ塗材の種類 ・ 所要量 (kg/m <sup>2</sup> )		5	7. ステンレス製建具
4	11. 防水保証	アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 塗膜防水及びケイ酸系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。	4	4. 外壁改修工事	・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※9・※16 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※9・※16 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※9・※9 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25未満 ※16・※16 ・モルタル塗替え工法	5	7. 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理	<4.6.3> 塗膜の劣化部の除去工法 処 理 範 囲 ・サンダー工法 ※ 既存仕上面全体 ・高圧水洗工法 ※ 図示 ・塗膜は剥離工法 ・水洗い工法	5	8. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 <16.7.2~4> かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 棧、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ぶすま工法(・ 在来型 ・ チップ型)
	2. 欠損部改修	・コンクリート打放し仕上げ <4.2.2><4.3.4~7> 工 法 材 料 ひび割れの幅(mm) 延べ長さ(m) ※ シール工法 ※ バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2未満 ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ 1カットシール材充てん工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満		外壁改修工事	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※16・※25 ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※13・※20 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※13・※12・※20 ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※9・※16 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※9・※16 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※9・※9 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25未満 ※16・※16 ・モルタル塗替え工法		5	9. 建具用金物		金物の種類 型 式 製造所 シリンドー錠 本締り付きモノロック レバーハンドル レバー長さ L=130程度 錠前類と同一製造所 モノロック シリンドー錠 グレモン錠 ドアクローザー フロアヒンジ ヒンジクローザー ビボット形 ビボットヒンジ JIS表示認証製品 戸あたり あおり止め付き 標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(標準型共)のドアクローザー、シリンドー錠は公共工事標準型とする。 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。 マスターキーの製作 ・ 要 ・ 不要 ・ 不要(既存マスターキーで施錠可能とする。) <5.7.4> 性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置 引き戸用検出装置の種類 ・ 光線式(反射)センサー <5.8.3><表5.8.4> ・ タッチスイッチ ・ ※ 多機能トイレ出入口に設置される引き戸用開閉装置は、補助センサー併用とする 凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要 全半開装置 ※ 設ける(半開幅=) ・ 設けない	
5	1. ひび割れ部改修	・モルタル塗り仕上げ <4.2.2><4.4.5~7> 工 法 材 料 ひび割れの幅(mm) 延べ長さ(m) ※ シール工法 ※ バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2未満 ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ 1カットシール材充てん工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満	4	4. タイル張り	・タイル張り仕上げ <4.2.2><4.5.5~8><4.5.16> 工 法 材 料 ひび割れの幅(mm) 延べ長さ(m) ※ 樹脂注入工法 ・ 低粘度エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 ・ 高粘度エポキシ樹脂 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ※ タイル貼り除去後 ・ 可とう性エポキシ樹脂 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満 ・ 1カットシール材充てん工法 ・ シーリング材PU-2 1.0~1.5未満 ・ 樹脂注入工法の可とう性エポキシ樹脂 1.5~2.0未満 上タイル張替え工法 ・ ポリマーセメント ・ タイル部分張替え工法 ・ モルタル ・ 目地ひび割れ改修工法 ※ 既調合目地材	5	1. 一般事項	改修工法 <5.1.3> ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。 見本の作成等 <5.1.5> 製 作 ※ 行わない ・ 行う(建具表による) 仮 組 ※ 行わない ・ 行う(建具表による) 防犯建物部品 ※ 使用しない ・ 使用する(建具表による) <5.1.7>	5	10. 自動ドア開閉装置	性能 ・ 引き戸用駆動装置 <5.8.2><表5.8.1~2> ・ 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置 引き戸用検出装置の種類 ・ 光線式(反射)センサー <5.8.3><表5.8.4> ・ タッチスイッチ ・ ※ 多機能トイレ出入口に設置される引き戸用開閉装置は、補助センサー併用とする 凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要 全半開装置 ※ 設ける(半開幅=) ・ 設けない
	2. 欠損部改修	・コンクリート打放し仕上げ <4.2.2><4.3.7> 工 法 材 料 平均深さ(mm) 延べ面積(m <sup>2</sup> ) ※ 充てん工法 ・ エポキシ樹脂モルタル 2.0~3.0未満 3.0~4.0未満 ・ ポリマーセメントモルタル 5~1.0未満 1.0~1.5未満 1.5~2.0未満		外壁改修工事	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※16・※25 ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※13・※20 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※13・※12・※20 ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 0.25未満 ※9・※16 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 0.25以上 1.0以下 ※9・※16 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25以上 1.0を越える ※9・※9 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 0.25未満 ※16・※16 ・モルタル塗替え工法		5	11. 重量シャッター		<5.10.2><表5.10.1> 種 類 シャッターケース 耐風圧強度 開閉方式 保護装置 ・ 管理用シャッター ※ 設ける ・ 設けない 建具表及び図示による ※ 上部電動式(手動併用) 障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。 ・ 防火シャッター ※ 設ける ※ 上部電動式(手動併用) ・ 防煙シャッター	
6	2. 欠損部改修	・モルタル塗り仕上げ <4.2.2><4.4.8~9> 工 法 材 料 平均深さ(mm) 延べ面積(m <sup>2</sup> ) ※ 充てん工法 ・ エポキシ樹脂モルタル 2.0~3.0未満 3.0~4.0未満 ・ ポリマーセメントモルタル 5~1.0未満 1.0~1.5未満 1.5~2.0未満	4	5. 塗り仕上げ外壁	・モルタル塗り仕上げ <4.1.5><4.2.2><表4.2.4~5> 規格名称 種類(呼び名) 仕上の形状 工 法 上塗り材 ・薄付け仕上塗材 ・ 外装薄塗材E ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ ローラー ・厚付け仕上塗材 ・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材E ※吹付け ・ こて ・複層仕上塗材 ・ 複層塗材CE ・ ゆず肌 ・ 吹付け ※複層塗材E ・ 凸部処理 ・ ローラー ・ 複層塗材RS ・ 凸凹模様 ・ 複層塗材RE ・ 複層塗材Si ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RS ※可とう形改修塗材E ※ゆず肌 ※吹付け ・ 可とう形改修塗材RE ・ さざ波 ・ ローラー ・ 可とう形改修塗材CE ・ 吹付け用軽量塗材 ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ こて塗用軽量塗材 ・ 平たん状 ・ こて塗り 仕上塗材の耐候性 ※ 耐候形1種(可とう形改修塗材の場合) ※ 耐候形2種 ※ 耐候形3種(可とう形改修塗材以外の場合)	5	2. アルミニウム製建具	外部に面する建具性能等級等 <5.3.2><表5.3.1> 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A種 S-4 W-4 ・ B種 S-5 A-4 W-5 ※建具表による ・ C種 S-6 ※適用箇所は図示による 防音ドア、防音サッシ <表5.3.2> ・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 ・ T-A種 ・ T-B種 断熱ドア、断熱サッシ <表5.3.3> ・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の断熱性の等級 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 表面色 <5.3.4> ・ 標準色(白) ・ 特注色(・ 黒 ・ ブラウン ・ シルバー) 簡易気密型ドアセット <5.4.2><5.4.4><表5.4.1><表5.4.2> ※使用する(適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 建具寸法が<5.4.4(1)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ 区 分 使用箇所 厚さ(mm) 窓 枠 種類 枠 方立 無目 <表5.4.2>に同じ 出入口 枠 種類 一般部分 2.3 戸 中骨 2.3 上記以外 <表5.4.2>に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない <5.4.6>	5	12. 軽量シャッター	<5.11.2~4><表5.11.1> 開閉形式 シャッターケース 耐風圧強度 スラットの形状 保護装置 ※ 手動式 ※ 設ける 建具表及び図示による ※ インターロッキング型 障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける ・ 上部電動式(手動併用) ・ 設けない ※ オーバーラッピング型 スラットの材質 <5.11.3> ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) ・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)
	3. 網戸	・網戸張り仕上げ <4.5.4><4.5.8> タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 <4.5.8> 施工箇所 形状寸法(mm) 施工 無有無標準注文 再生材備考 ・ 網戸張り仕上げ <4.5.4><4.5.8> タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 <4.5.8> 施工箇所 形状寸法(mm) 施工 無有無標準注文 再生材備考 ・ 網戸張り仕上げ <4.5.4><4.5.8> タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 <4.5.8> 施工箇所 形状寸法(mm) 施工 無有無標準注文 再生材備考		5	13. オーバーヘッドドア		材 質 開閉方式 収納形式 耐風圧性能 ガイドレール ※スチール ※ バランス式 ※ スタン ・ 50 ※ 溶融亜鉛 タイプ ・ チェーン式 ・ タード形 ・ 75 ・ アルミニウム ・ 電動式 ・ ロー ・ 100 タイプ ・ ヘッド形 ・ 125 ・ ファイバー ・ ハイ (JIS A4715 ガラスタイプ ・ リフト形による強さ の区分) ・ パーチ カル形 保護装置 障害物感知装置 ※ 設ける ・ 設けない <5.13.2><5.13.3> ※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類				
7	3. 網戸	・網戸張り仕上げ <4.5.4><4.5.8> タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 <4.5.8> 施工箇所 形状寸法(mm) 施工 無有無標準注文 再生材備考 ・ 網戸張り仕上げ <4.5.4><4.5.8> タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品 <4.5.8> 施工箇所 形状寸法(mm) 施工 無有無標準注文 再生材備考	4	5. 塗り仕上げ外壁	・モルタル塗り仕上げ <4.1.5><4.2.2><表4.2.4~5> 規格名称 種類(呼び名) 仕上の形状 工 法 上塗り材 ・薄付け仕上塗材 ・ 外装薄塗材E ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ ローラー ・厚付け仕上塗材 ・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材E ※吹付け ・ こて ・複層仕上塗材 ・ 複層塗材CE ・ ゆず肌 ・ 吹付け ※複層塗材E ・ 凸部処理 ・ ローラー ・ 複層塗材RS ・ 凸凹模様 ・ 複層塗材RE ・ 複層塗材Si ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RS ※可とう形改修塗材E ※ゆず肌 ※吹付け ・ 可とう形改修塗材RE ・ さざ波 ・ ローラー ・ 可とう形改修塗材CE ・ 吹付け用軽量塗材 ・ 砂壁状 ・ 吹付け ・ こて塗用軽量塗材 ・ 平たん状 ・ こて塗り 仕上塗材の耐候性 ※ 耐候形1種(可とう形改修塗材の場合) ※ 耐候形2種 ※ 耐候形3種(可とう形改修塗材以外の場合)	5	3. 網戸	使用法による区分 ※外面納まりの可動式 <5.2.3> ・ 内部納まりの開き式 防虫網(線径0.25mm 網目16-18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ スチール(SUS 316) ※合成樹脂 防鳥網 ※ステンレス(SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm	5	14. ガラス	ガラス <5.13.2><5.13.3> ※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類
	4. 樹膠製建具	・樹膠製建具 <5.3.2><表5.3.1> 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A種 S-4 W-4 ・ B種 S-5 A-4 W-5 ※建具表による ・ C種 S-6 ※適用箇所は図示による 防音ドア、防音サッシ <表5.3.2> ・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 ・ T-A種 ・ T-B種 断熱ドア、断熱サッシ <表5.3.3> ・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の断熱性の等級 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 表面色 <5.3.4> ・ 標準色(白) ・ 特注色(・ 黒 ・ ブラウン ・ シルバー) 簡易気密型ドアセット <5.4.2><5.4.4><表5.4.1><表5.4.2> ※使用する(適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A-3 水密性 ※ W-1 使用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-4 ・ S-5 建具寸法が<5.4.4(1)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ 区 分 使用箇所 厚さ(mm) 窓 枠 種類 枠 方立 無目 <表5.4.2>に同じ 出入口 枠 種類 一般部分 2.3 戸 中骨 2.3 上記以外 <表5.4.2>に同じ 標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない <5.4.6>		5	14. ガラス		ガラス <5.13.2><5.13.3> ※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類				

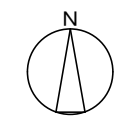
5 建具 改修 工事	強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1種 ・ 2種 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 複層ガラス ・ T1 ・ T2 ・ T3 断熱性 ・ T4 ・ T5 日射取得性、日射遮蔽性 ・ G ・ S 封止の加速耐久性による区分 ※ III類 熱線反射ガラス 日射遮蔽性 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性 ・ A類 ・ B類 色調 ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ 反射皮膜 映像調整 ・ 内側 ・ 外側 行方 ・ 行わない	6 内装 改修 工事	⑩ 軽量鉄骨 壁下地材 スタッド、ランナーなどの種類は<表6.7.1>による。 <6.7.3><表6.7.1> ※ JIS A 6519のJIS表示認証製品 11. 体育館の 鋼製床下地 JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2><6.8.3> 種類 記号 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法 ※ 発泡層のないもの ※ F S ※無地 ※ 2.0 ・帯電防止 ※熱溶接 ・発泡層のあるもの ・ T S ・マーブル ・ 2.5 ・耐動荷重 ・突付け ・ H S ・ K S 目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法 13. ビニル床 タイル張り JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2> 種類 記号 寸法 厚さ(mm) 特殊機能 ※ コンポジション ※ K T ※ 300×300 ※ 2.0 ・帯電防止 ・ニル床タイル ・ 耐動荷重 ・ ホモジニアス ・ F T ・ 300×300 ・ 2.0 ・帯電防止 ・ニル床タイル ・ 450×450 ・ 耐動荷重 目地処理する場合の工法 ・熱溶接工法 14. ビニル床 タイル・ビニル 床シートの特 殊機能 <6.8.2> 帯電防止 ・帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 1.2~3.1程度 又は耐電圧 (JIS L 1023) 3kV以下 ・帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 3.2~5.1程度 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 <sup>10</sup> オーム未満 ・帯電防止性能評価 (JIS A 1455) 5.2以上 又は漏えい抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 <sup>7</sup> オーム未満 耐動荷重 JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離 強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の 試験後異常がないこと。 15. 視覚障害者用 床タイル <6.8.2> 材 質 寸法 (mm) ・塩化ビニル系 ・せつ器質タイル系 300×300 16. ビニル幅木 材 種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接 <6.8.2> 高さ (mm) ・ 60 ※ 75 ・ 100 厚さ (mm) ・ 1.5 ※ 2.0 ⑪ カーベット 敷き <6.9.2><表6.9.2> タフテッドカーベット 施工箇所 バイル形状 バイル長さ (mm) 工 法 品質 帯電性 ※全面接着工法 ・<6.9.2(2)> ・グリッパー工法 による ⑫ タイルカーベット <6.9.2><表6.9.1> 施工箇所 種類 記号 寸法 総厚さ 帯電性 図書室 ※第1種 ※ルーフバイル ※500×500 ※ 6.5 製造所の 仕様による 18. 合成樹脂塗床 材料の種類 <6.10.2> ・厚膜型塗床材 ・弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・エポキシ樹脂系塗床材 ・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床材) 仕上の種類 <6.10.3> ・平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ 19. フローリング 張り <6.11.2><表6.11.1~6> 種 別 樹種 厚さ (mm) 工 法 塗装 ・フローリング ※なら ※15 幅 75 ・釘止め工法 ※ウレタン樹脂 ボード1等 ・長さ400以上 ・接着工法 ワニス塗り ・オイルステ ン塗りの上 ワックス塗り ・フローリング ※なら ※15 (303×303) ・接着工法 ・生地のまま ブロック1等 ・ワックス塗り ・既塗装品 ・複合フローリング 種 別 樹種 種別 防湿処理 工 法 塗装 ・複合 ※なら ・A種 ・行方 ・釘止め工法 ※ウレタン樹脂 フローリング ・さくら ・B種 ※行わ ・接着工法 ワニス塗り ・ひのき ※C種 ない ・オイルステ ン塗りの上 ワックス塗り ・大型積層 ・なら ・行方 ・特殊張り ・生地のまま フローリング ・さくら ・行わ ・工法 (体育館床) ・ワックス塗り ・既塗装品 20. 畳敷き 畳の種類 ・ A種 ・ B種 <6.12.2><表6.12.1> ※ C種 ・ D種 ( ) ⑬ 石こうボード その他ボード 張り <6.13.2><表6.13.1><表6.13.5> 種類又は記号 種別など 厚 さ (mm) 規格番号 けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 壁 ・ 8 (不燃) JIS A 5430 0.8 F K又は1.0 F K 天井 ・ 10 (不燃) (タイプ2) ・ 12 (不燃) ・ 12 (不燃) グラスウール (JIS A 3414 EP18程度) 25 (不燃) JIS A 6301 (32K) 類縁張り品 ロックウール (吸音材料) GW-B ※ 内部用 普通 ※ 9 (不燃) JIS A 6301 ・ 軒天用 立体 ※ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 19 (不燃) ⑭ ガラス ブロック (中空) <5.13.5> 表面形状 (JIS A5212) モジュール呼び寸法 厚さによる区分 正方形 ・ 125×125 ・ 160×160 ・ 80 ・ 200×200 ・ 320×320 ・ 95 長方形 ・ 250×125 ・ 320×160 ・ 125 品質等 ガラスの種類 柄 目地色 金 属 枠 耐火性能 ・一般ガラス ・ 無 ・ 白 ・ アルミニウム製 ・ 規定しない ・ 乳白ガラス ・ 有 ・ グレー (表面処理) ( 有 分間) ・ カラーガラス ・ ステンレス製 (表面仕上) ・ 熱線反射ガラス	6 内装 改修 工事	1. 改修範囲 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3> ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示の範囲 2. 既存床の撤去 ・下地補修 合成樹脂塗床の除去方法 <6.2.2(1)> ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法 3. 改修後の 床の清掃範囲 当該室全体 ・ 図示の範囲 <6.2.2(3)> 4. 既存壁の撤去 ・下地補修 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 <6.3.2(1)> ※ <4.4.9>による ( ) 5. 木 材 表面仕上げの程度 <6.5.1(3)> 表面仕上げの種別 適用箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種 機械加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 手加工 含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 <6.5.2(1)><表6.5.3> 造作材 ※ A種 ・ B種 造作材の材面の品質 ※ A種 ・ B種 <6.5.2(2)><表6.5.4> 造作用集材は<6.5.2(3)>による <6.5.2> 見 付 け 材 面 JASによる集材材 其 他 等 ※ 1等 ・ 2等 ※ JAS集材材1等同等 単材の樹種 単材の厚さ (mm) 10~15 10~15 7. 床張り用合板 下地用合板 (12.2.1) ※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上 ( ) 8. 防菌・防蟻 ・防虫処理 薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理 <6.5.5> 適用部材 ( ) 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等 を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防菌・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1 ⑯ 軽量鉄骨天井 下地材 <6.6.2><表6.6.11> 野線などの種類 屋内 ※ 19型 ・ 25型 (室名 : ) 屋外 ・ 19型 ※ 25型 インサート <6.6.4(1)> ○ 既存インサートを使用する ○ あと施工アンカーを設ける あと施工アンカーの確認試験 <6.6.4(1)> ○ 行う ※ 行わない 耐震性を考慮した補強 <6.6.4(10)> ※ 行わない ○ 行う (補強方法と補強箇所は図示による) 耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等) <6.6.4(11)> ※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)	6 内装 改修 工事	22. 遮音シール材 23. 壁紙張り 24. タイル張り 25. セルフレ ベリング材塗り 7 1. 防火材料 <7.1.3> ※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示の あるものとする。 ( ) 2. 錆止め 塗料塗り <7.3.2><表7.2.2><表7.3.1~4> 下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別 鉄鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(見え掛かり) ※A種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ※B種(見え隠れ) ※B種 垂鉛めつき 新 規 塗 装 種 別 塗 料 種 別 鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※A種・B種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ※C種 ※C種 3. 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) <7.2.2><表7.2.1~3><表7.4.1~3> 下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別 木部 新 規 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種(外部) ※1種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ※B種(内部) ・ C種 ※2種 鉄鋼面 新 規 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種・C種 ※2種 垂鉛めつき 建 具 塗 替 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※2種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種・C種 ⑰ つや有り 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G) <7.2.5><表7.2.4><表7.10.1> 下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別 コンクリート面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種・C種 ALCパネル面 押出成形 セメント板面 モルタル面 新 規 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 プラスチック面 塗 替 換 ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種・C種 石こうボード 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 その他の 塗 替 換 ※RA種(継目処理工法) ・ A種 ※B種・C種 ボード等の面 ※RB種(その他)・RC種	8 1. 設計基準強度 普通コンクリート (N/mm2) <8.1.5> 設計基準強度 適用箇所 ※ 2.1 2. レディー ミクスト コンクリート <8.1.3><表8.1.1> 類別 ※ I類 ・ II類 3. 打直し 仕上げの種別 <8.1.4><表8.1.4> 種 別 適用箇所 ※ A種 ※ B種 ・ C種 4. セメントの 種類 <8.2.5> セメントの種類 適用範囲 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種 建物躯体(下記以外) シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 基礎、地中梁 ・フライアッシュセメントB種 基礎、地中梁 5. 骨 材 <8.2.5> 使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 ※ A ・ B 6. 混和材料 <8.2.5> 混和剤 ※ AE剤、AE減水剤 I種又は高性能AE減水剤 7. 軽量 コンクリート <8.9.1><表8.9.1> 種 別 適用箇所 気乾単位容積質量 (t/m3) 8. 無筋 コンクリート <8.11.1> 適用箇所 9. グラウト材 <8.2.12> 無収縮グラウト材は、製造所で調査された材料を使用する。 圧縮強度 (N/mm2) : 30以上 コンシステンシー J14: ロート値 (秒) 6~10 乾燥収縮 (×10 <sup>-4</sup> ) : 0 10. 柱底等の 均しモルタル <8.2.12> 無収縮モルタル材 ・ 使用する ・ 使用しない 11. 型 枠 <8.2.7> せき板の種類 ※ 12mm合板 ・ せき板の塗料 ※ 無 ・ 有 12. コンクリート の打込み工法 <8.21.8><8.23.5> ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 13. 既存部分の 撤去 <8.21.2> 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ・ 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示	8 1. 鉄骨の種類 <8.2.1><表8.2.1> 規 格 名 称 種類 記号 径 (mm) 鉄筋コンクリート用棒筋 ※ S D 2 9 5 A ※ D 1 9 以下 ※ S D 3 4 5 ※ D 1 9 以上 2. 溶接金網 <8.2.2> ※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 線径 (mm) 6.0 × 網目 (mm) 100 使用箇所 ( ) 3. 鉄筋の継手 <8.3.4> 径 19 mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 ・ 図示 4. 柱の帯筋 5. 圧接完了後の 抜取試験 <8.3.8> 試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験	8 1. あと施工 アンカー <8.2.4> ※ 接着系アンカー [引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)] アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式 接着剤 ※有機系 ・ 無機系 ・ 金属系アンカー [引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)] 打込み方式 ※ 本体打込み式改良型 2. あと施工 アンカーの 試験 <8.2.4> 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う 施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない 3. 埋込配管等 の探査 <8.12.4> 範囲 ※穿孔箇所すべて ・ 図示 8 1. 鉄骨製作工場 <8.1.5> ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を 受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾 する工場 <8.2.8><表8.2.7> 材 質 規 格 ・ SS400 ・ SSC400 ・ STK400 ・ STKR400 JIS表示認証製品 ・ SN400B,C ・ SN490B,C ・ SM400 ・ SM490 3. 高力ボルト <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※建築基準法に基づき認定を受けたもの ・ J I S 形高力ボルト ※ 2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※ 1種 (F8T相当) 4. 溶接部の試験 <8.15.12> ※超音波探傷試験 5. 錆び止め塗装 <8.17.4> <7.3.2><表7.3.1>による。 6. 耐火被覆 <8.18.2~8> 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・耐火剤吹き付け ・乾式 吹付けロックウール ・半乾式 吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・耐火板張り ・繊維混入 けい酸カルシウム板 ・耐火材巻付け ・ 中断熱ロックウール ・ラス張り ・モルタル塗り ・耐火塗料
	15. ガラス ブロック (中空) <5.13.5> 表面形状 (JIS A5212) モジュール呼び寸法 厚さによる区分 正方形 ・ 125×125 ・ 160×160 ・ 80 ・ 200×200 ・ 320×320 ・ 95 長方形 ・ 250×125 ・ 320×160 ・ 125 品質等 ガラスの種類 柄 目地色 金 属 枠 耐火性能 ・一般ガラス ・ 無 ・ 白 ・ アルミニウム製 ・ 規定しない ・ 乳白ガラス ・ 有 ・ グレー (表面処理) ( 有 分間) ・ カラーガラス ・ ステンレス製 (表面仕上) ・ 熱線反射ガラス	6 内装 改修 工事	1. 改修範囲 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3> ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ・ 図示の範囲 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示の範囲 2. 既存床の撤去 ・下地補修 合成樹脂塗床の除去方法 <6.2.2(1)> ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法 3. 改修後の 床の清掃範囲 当該室全体 ・ 図示の範囲 <6.2.2(3)> 4. 既存壁の撤去 ・下地補修 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 <6.3.2(1)> ※ <4.4.9>による ( ) 5. 木 材 表面仕上げの程度 <6.5.1(3)> 表面仕上げの種別 適用箇所 ・ A種 ・ B種 ・ C種 機械加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 手加工 含水率 下地材 ※ A種 ・ B種 <6.5.2(1)><表6.5.3> 造作材 ※ A種 ・ B種 造作材の材面の品質 ※ A種 ・ B種 <6.5.2(2)><表6.5.4> 造作用集材は<6.5.2(3)>による <6.5.2> 見 付 け 材 面 JASによる集材材 其 他 等 ※ 1等 ・ 2等 ※ JAS集材材1等同等 単材の樹種 単材の厚さ (mm) 10~15 10~15 7. 床張り用合板 下地用合板 (12.2.1) ※ JASの構造用合板 特類 2等以上 C-D以上 ( ) 8. 防菌・防蟻 ・防虫処理 薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理 <6.5.5> 適用部材 ( ) 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等 を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防菌・防蟻処理を行う。 防虫処理 ラワン材 保存処理性能区分 ※ K1 ⑯ 軽量鉄骨天井 下地材 <6.6.2><表6.6.11> 野線などの種類 屋内 ※ 19型 ・ 25型 (室名 : ) 屋外 ・ 19型 ※ 25型 インサート <6.6.4(1)> ○ 既存インサートを使用する ○ あと施工アンカーを設ける あと施工アンカーの確認試験 <6.6.4(1)> ○ 行う ※ 行わない 耐震性を考慮した補強 <6.6.4(10)> ※ 行わない ○ 行う (補強方法と補強箇所は図示による) 耐風圧性を考慮した補強 (ピロティ、屋外軒天井等) <6.6.4(11)> ※ 行わない ・ 行う (補強方法と補強箇所は図示による)	6 内装 改修 工事	22. 遮音シール材 23. 壁紙張り 24. タイル張り 25. セルフレ ベリング材塗り 7 1. 防火材料 <7.1.3> ※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示の あるものとする。 ( ) 2. 錆止め 塗料塗り <7.3.2><表7.2.2><表7.3.1~4> 下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別 鉄鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種(見え掛かり) ※A種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ※B種(見え隠れ) ※B種 垂鉛めつき 新 規 塗 装 種 別 塗 料 種 別 鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※A種・B種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種 ※C種 ※C種 3. 合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) <7.2.2><表7.2.1~3><表7.4.1~3> 下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別 木部 新 規 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種(外部) ※1種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ※B種(内部) ・ C種 ※2種 鉄鋼面 新 規 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※1種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種・C種 ※2種 垂鉛めつき 建 具 塗 替 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 鋼面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種 ※B種・C種 ※2種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種・C種 ⑰ つや有り 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G) <7.2.5><表7.2.4><表7.10.1> 下 地 種 別 下 地 調 整 塗 装 種 別 塗 料 種 別 コンクリート面 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 塗替え ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種・C種 ALCパネル面 押出成形 セメント板面 モルタル面 新 規 ・ RA種 ※RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 プラスチック面 塗 替 換 ・ RA種 ※RB種・RC種 ・ A種 ※B種・C種 石こうボード 新 規 ※RA種・RB種・RC種 ※A種・B種・C種 ※1種 その他の 塗 替 換 ※RA種(継目処理工法) ・ A種 ※B種・C種 ボード等の面 ※RB種(その他)・RC種	8 1. 鉄骨の種類 <8.2.1><表8.2.1> 規 格 名 称 種類 記号 径 (mm) 鉄筋コンクリート用棒筋 ※ S D 2 9 5 A ※ D 1 9 以下 ※ S D 3 4 5 ※ D 1 9 以上 2. 溶接金網 <8.2.2> ※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 線径 (mm) 6.0 × 網目 (mm) 100 使用箇所 ( ) 3. 鉄筋の継手 <8.3.4> 径 19 mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 ・ 図示 4. 柱の帯筋 5. 圧接完了後の 抜取試験 <8.3.8> 試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験	8 1. あと施工 アンカー <8.2.4> ※ 接着系アンカー [引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)] アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式 接着剤 ※有機系 ・ 無機系 ・ 金属系アンカー [引張耐力 (KN)、せん断耐力 (KN)] 打込み方式 ※ 本体打込み式改良型 2. あと施工 アンカーの 試験 <8.2.4> 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う 施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない 3. 埋込配管等 の探査 <8.12.4> 範囲 ※穿孔箇所すべて ・ 図示 8 1. 鉄骨製作工場 <8.1.5> ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を 受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾 する工場 <8.2.8><表8.2.7> 材 質 規 格 ・ SS400 ・ SSC400 ・ STK400 ・ STKR400 JIS表示認証製品 ・ SN400B,C ・ SN490B,C ・ SM400 ・ SM490 3. 高力ボルト <8.2.9> ボルト種別 セットの種類 ※トルシア形高力ボルト ※建築基準法に基づき認定を受けたもの ・ J I S 形高力ボルト ※ 2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト ※ 1種 (F8T相当) 4. 溶接部の試験 <8.15.12> ※超音波探傷試験 5. 錆び止め塗装 <8.17.4> <7.3.2><表7.3.1>による。 6. 耐火被覆 <8.18.2~8> 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・耐火剤吹き付け ・乾式 吹付けロックウール ・半乾式 吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・耐火板張り ・繊維混入 けい酸カルシウム板 ・耐火材巻付け ・ 中断熱ロックウール ・ラス張り ・モルタル塗り ・耐火塗料			

7. アンカーボルト	種別	適用箇所	(7.2.4)
	※ A種		
8. 既存部分の撤去	種別	適用箇所	(8.2.2)
	※ B種		
1. 工法	種別	適用箇所	(8.23.5)
	※ C種		
2. 既存部分の撤去	種別	適用箇所	(8.23.6)
	※ D種		
1. スリットの種類	種別	適用箇所	(8.25.1)
	※ E種		
2. スリットの充填材	種別	適用箇所	(8.25.2)
	※ F種		
1. 連続繊維シート	種別	適用箇所	(8.2.13)(8.24.6)
	※ G種		
1. 埋戻し及び盛土	種別	適用箇所	(8.28.3)
	※ H種		
2. 建設発生土の処理	種別	適用箇所	(8.28.3)
	※ I種		
3. 有害物質含有調査	種別	適用箇所	(8.28.3)
	※ J種		
4. 山留めの撤去	種別	適用箇所	(8.28.3)
	※ K種		
5. 砂利地業	種別	適用箇所	(8.2.15)(8.28.4)
	※ L種		
6. 捨コンクリート地業	種別	適用箇所	(8.2.15)(8.28.4)
	※ M種		
7. 床下防湿層	種別	適用箇所	(4.6.2)
	※ N種		
1. 石綿含有建材の除去工事	種別	適用箇所	(9.1.1, 3~5)
	※ O種		
1. 断熱材	種別	適用箇所	(19.9.2)(19.9.3)
	※ P種		
1. 再生材	種別	適用箇所	(22.1.3)
	※ Q種		
2. 盛土材料	種別	適用箇所	(22.2.3)
	※ R種		
3. フィルター層及び凍上抑制層用材料	種別	適用箇所	(22.2.2)(22.2.3)
	※ S種		
4. 路床安定処理	種別	適用箇所	(22.2.2)(22.2.3)(表22.2.1)
	※ T種		
5. 砂の粒度試験	種別	適用箇所	(22.2.3)
	※ U種		
6. 路床土の支持力比(CBR)試験	種別	適用箇所	(22.2.5)
	※ V種		
7. 路床の締固め度の試験	種別	適用箇所	(22.2.5)
	※ W種		
8. 路盤材料	種別	適用箇所	(22.3.3)(表22.3.1)
	※ X種		
9. 路盤の締固め度の試験	種別	適用箇所	(22.3.5)
	※ Y種		
10. アスファルト舗装	種別	適用箇所	(22.4.2)(22.4.4)(表22.4.4)
	※ Z種		
11. コンクリート舗装	種別	適用箇所	(22.5.3)
	※ AA種		
12. カラー舗装	種別	適用箇所	(22.6.2)
	※ AB種		
13. 透水性アスファルト舗装	種別	適用箇所	(22.7.2)(22.7.6)
	※ AC種		
14. ブロック系舗装	種別	適用箇所	(22.8.2)(22.8.4)(表22.8.1)
	※ AD種		
15. 砂利敷き	種別	適用箇所	(22.9.2)
	※ AE種		
16. 区画線	種別	適用箇所	(20.2.2)
	※ AF種		
1. フリーアクセスフロア	種別	適用箇所	(20.2.2)
	※ AG種		



工事場所：宮城県宮城郡七ヶ浜町遠山1丁目9番18号 地内

案内図



工事概要

1. 南校舎棟、2階図書室の一部壁破損部復旧及び天井改修工事。（吊りボルト、LGS下地共）廊下と図書室にパーティションの新設工事。
2. 上記1の天井埋込遠赤外線ヒーターの撤去。（設備工事）
3. 上記建築工事に伴う電気設備の復旧工事。

特記事項

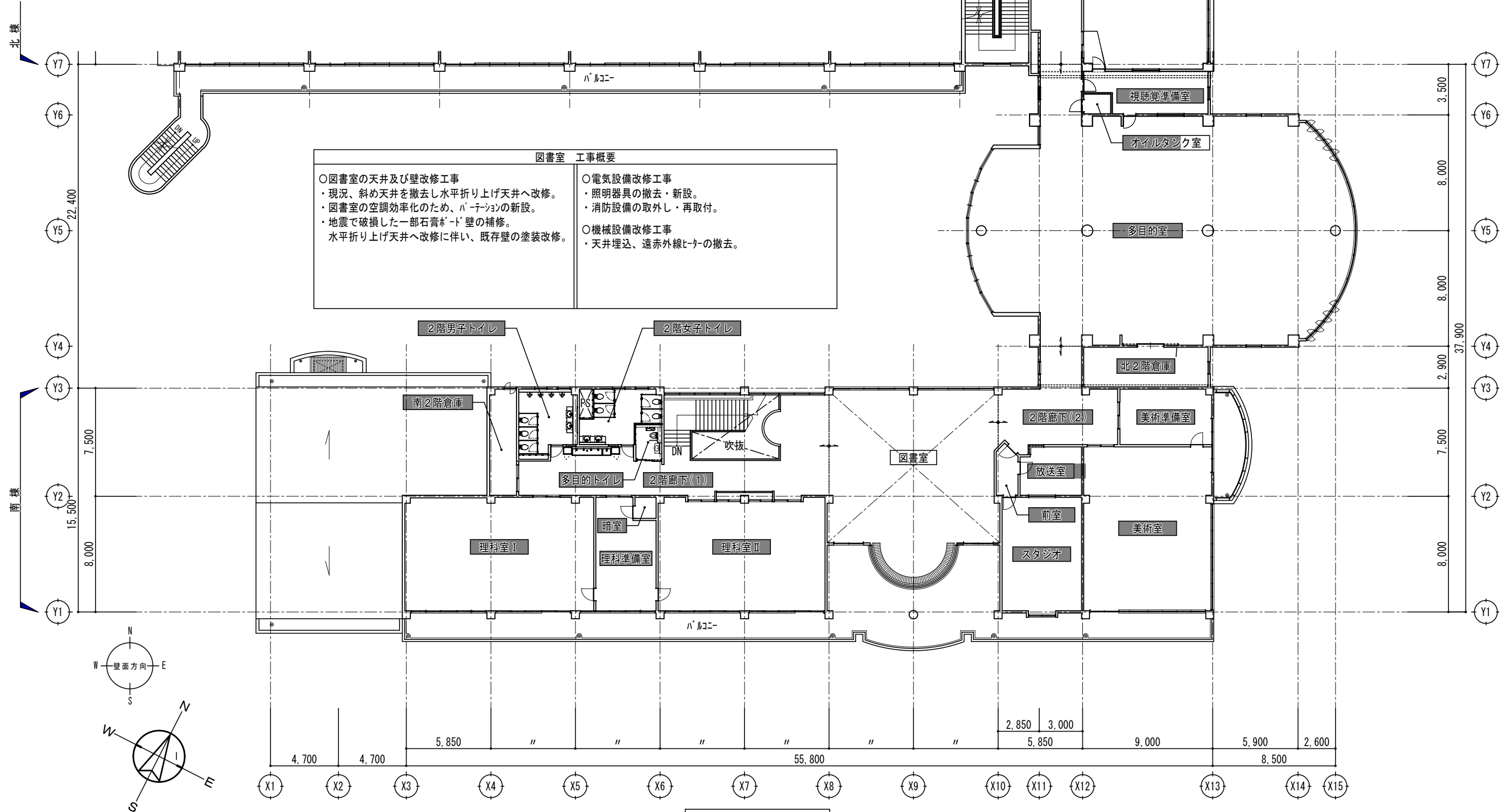
1. 工事搬入については、バルコニーより行うこととする。
2. 工所用仮設事務所は設けない。工事関係者用駐車場を南校舎棟1階技術室西側の一部を借用する。

配置図 S=1:600

- : 工事対象建物
- ▨ : 工事対象外建物

		令和5年度向洋中学校図書室改修工事	設計図	図面名 配置図・案内図	図面種別 A
				縮尺 S=1:600 (A4版 50%縮小)	図面番号 05





**図書室 工事概要**

<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書室の天井及び壁改修工事</li> <li>・現況、斜め天井を撤去し水平折上げ天井へ改修。</li> <li>・図書室の空調効率化のため、パテーションの新設。</li> <li>・地震で破損した一部石膏ボード壁の補修。</li> <li>・水平折上げ天井へ改修に伴い、既存壁の塗装改修。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電気設備改修工事</li> <li>・照明器具の撤去・新設。</li> <li>・消防設備の取外し・再取付。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械設備改修工事</li> <li>・天井埋込、遠赤外線ヒーターの撤去。</li> </ul>

2階平面図 S=1:200

凡例

室名 工事対象範囲の部屋を示す。

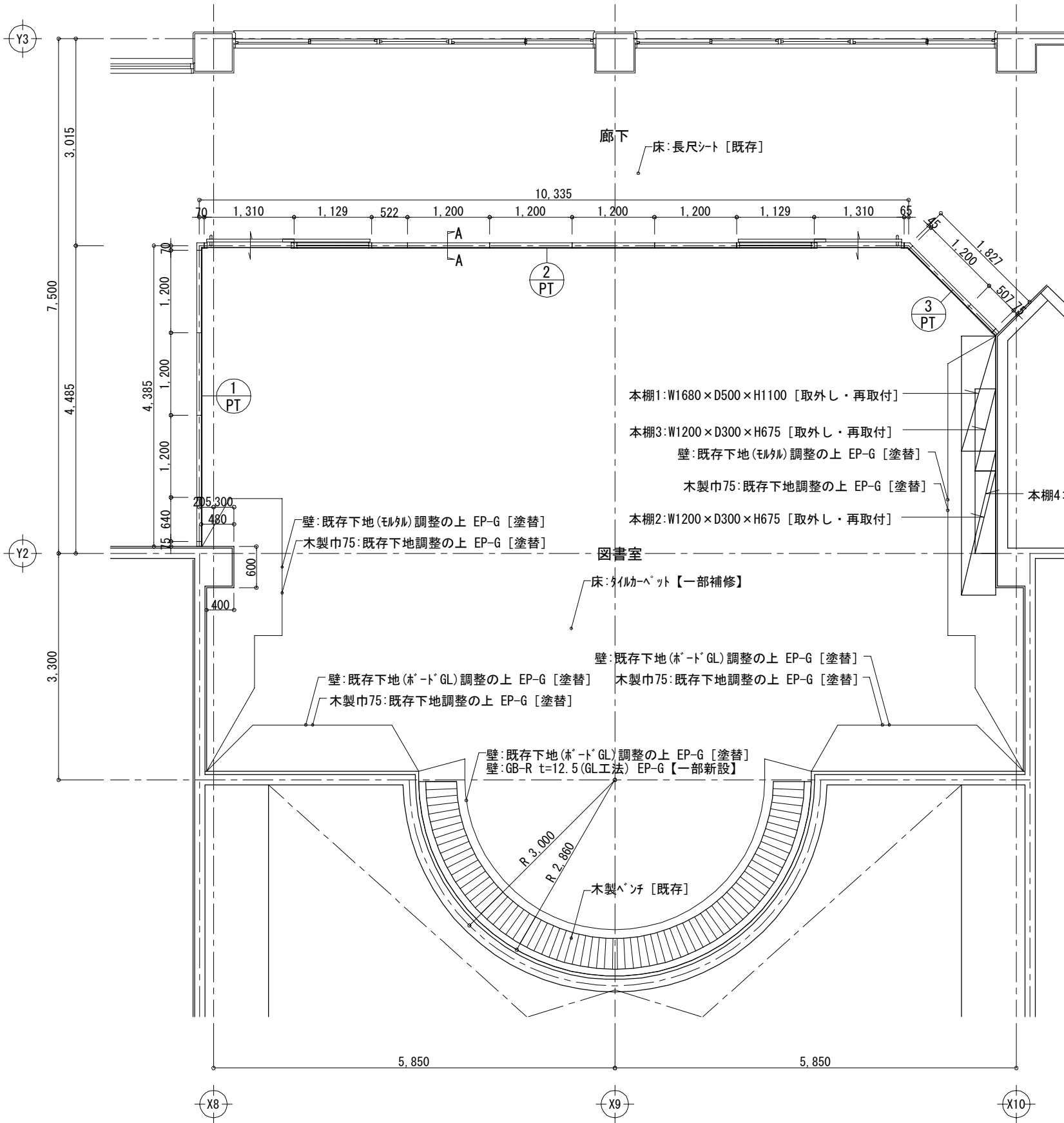
室名 工事範囲対象外を示す。

工事概要

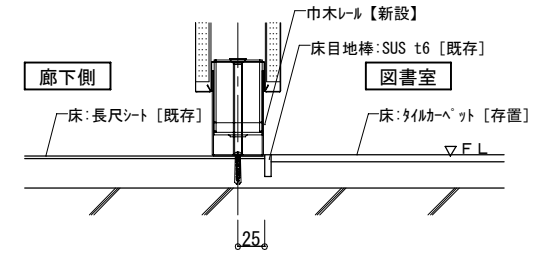
○斜め折り上げ天井の改修と空調効率化を図るため  
図書室の間仕切り化(パーティション新設)と既存壁・床の  
補修及び塗装改修工事を行う。

特記事項

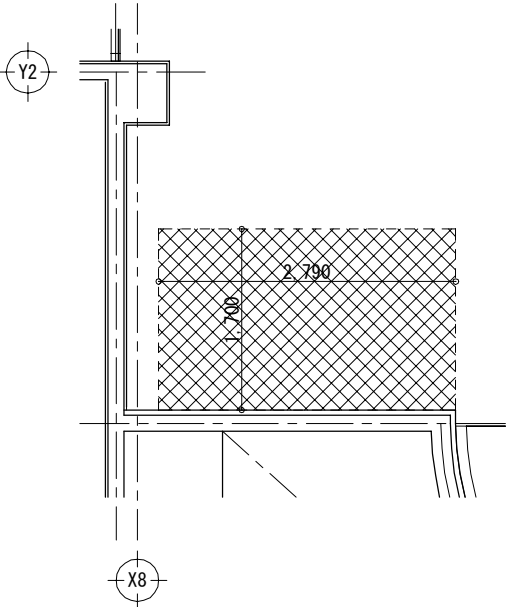
1. 図書室と廊下の間仕切壁は防火上主要な間仕切壁とし小屋裏又は天井裏に達せしめること。(114条区画)
2. 壁に固定されている本棚1~4については本工事に取外し・再取付とする。
3. 床置き本棚、その他家具等については、仮設間仕切内に移動すること。但し、施工にあたり支障が無ければ存置したままとすることもできる。存置した場合は十分な養生を施すこと。損傷を与えた場合、その責において施工者負担の上、現況復旧とする。



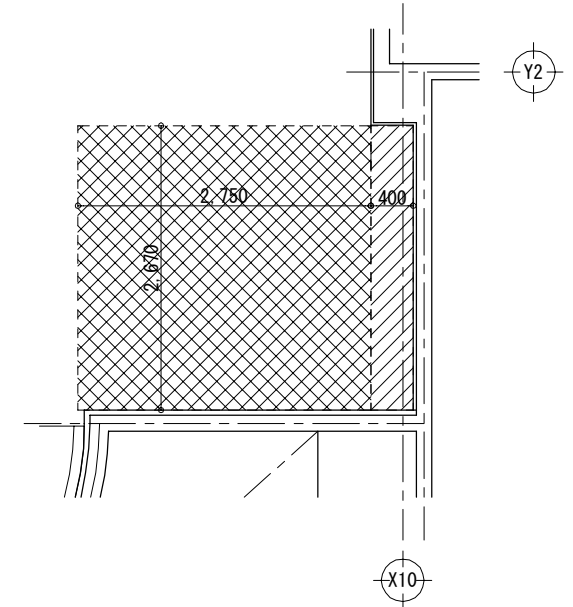
平面詳細図 S=1:50



A-A断面詳細図 S=1:5



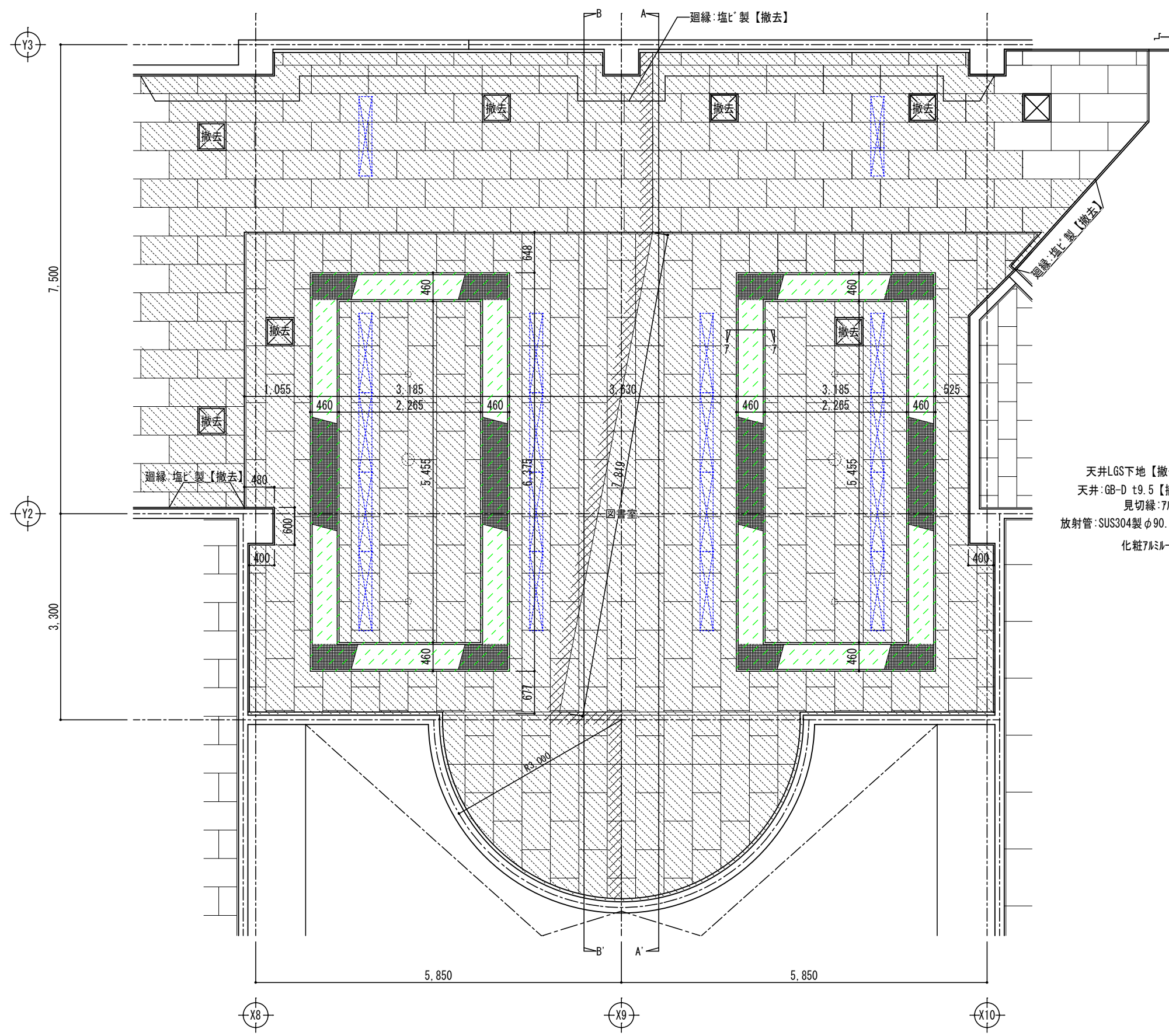
床補修範囲図 S=1:50



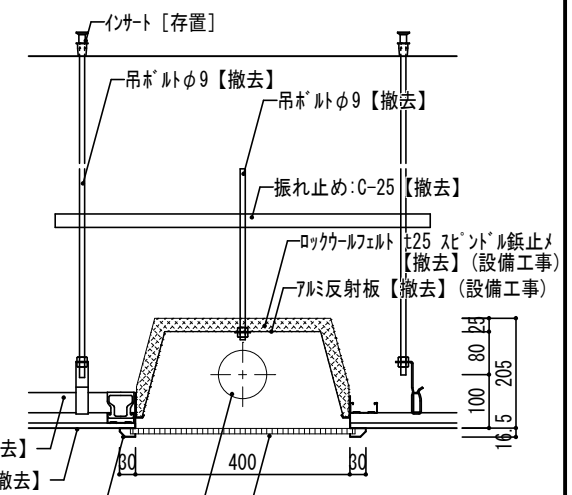
床補修範囲図 S=1:50

- 凡例
- : 床補修 (薄塗仕上)
  - : 床補修 (タイルカーペット撤去・新設)






		令和5年度向洋中学校図書室改修工事		設計図		図面名 改修後 図書室 平面詳細図	図面種別 A
						縮尺 S=1:50 (A4版 50%縮小)	図面番号 07



天井下図 S=1/50



7-7 詳細図 S=1:10

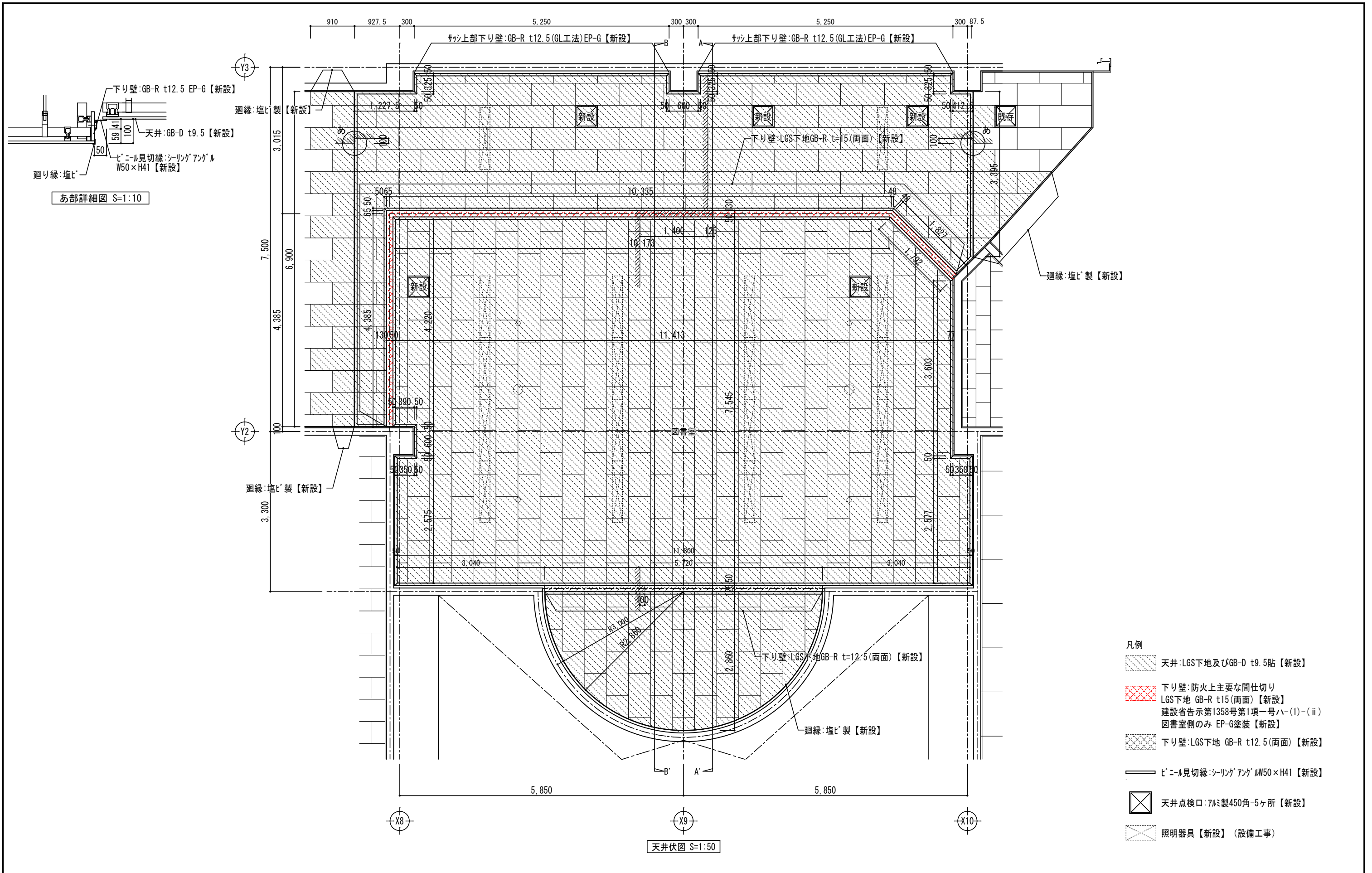
- 凡例
-  天井:LGS下地 GB-D t9.0貼【撤去】
  -  廻縁:塩ビ製【撤去】
  -  遠赤外線ヒーター【撤去】(設備工事)
  -  照明器具【撤去】(設備工事)
  -  天井点検口:7mm製450角-7ヶ所【撤去】


令和5年度向洋中学校図書室改修工事

設計図

図面名	改修前 図書室 天井伏図	図面種別	A
縮尺	S=1:10, 50 (A4版 50%縮小)	図面番号	08

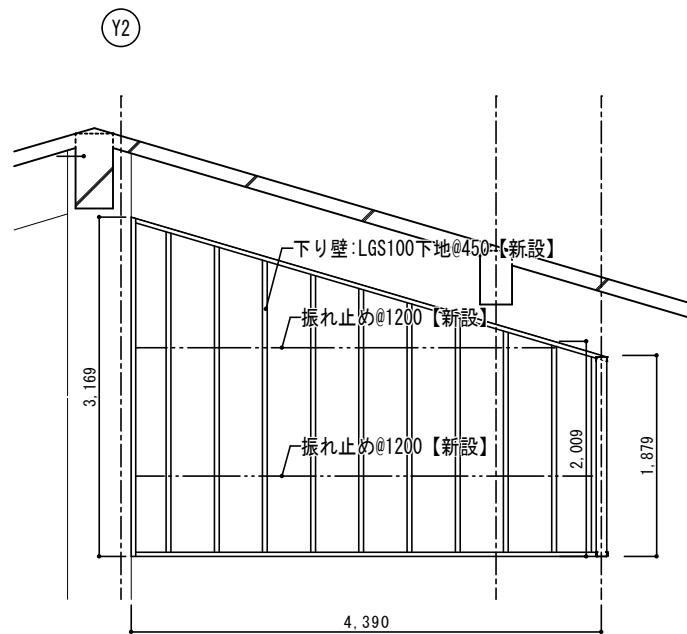




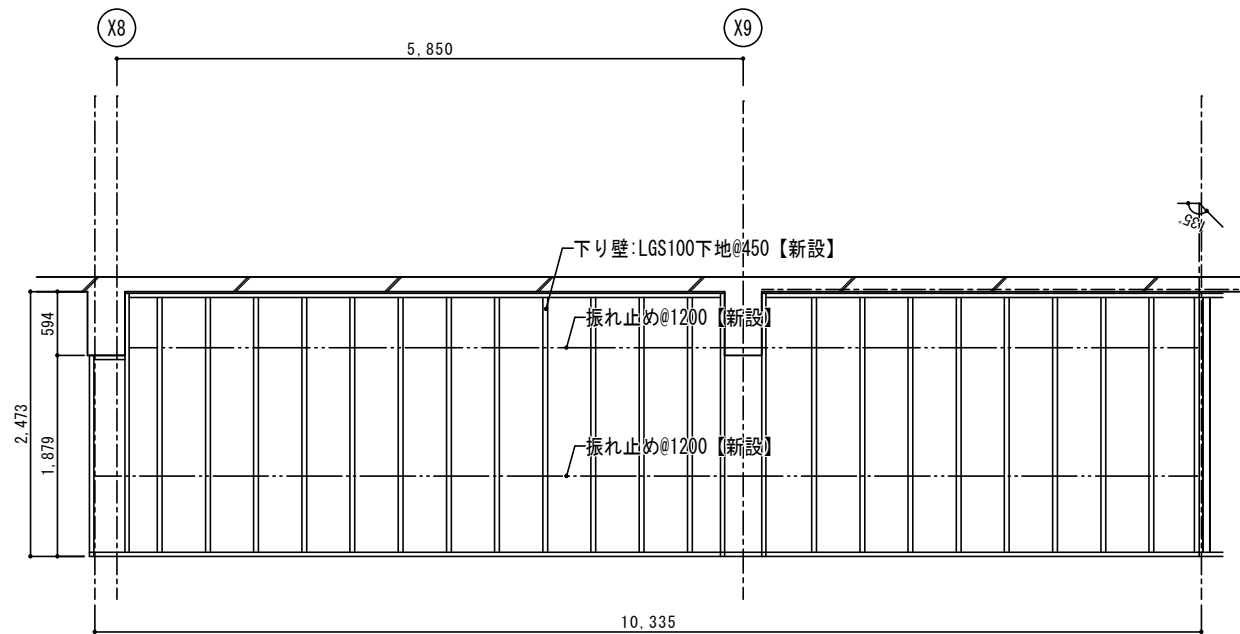
	<p>令和5年度向洋中学校図書室改修工事</p>	<p>設計図</p>	<p>図面名 改修後 図書室 天井伏図</p> <p>縮尺 S=1:50 (A4版 50%縮小)</p>	<p>図面種別 A</p> <p>図面番号 09</p>
--	--------------------------	------------	--	--------------------------------------



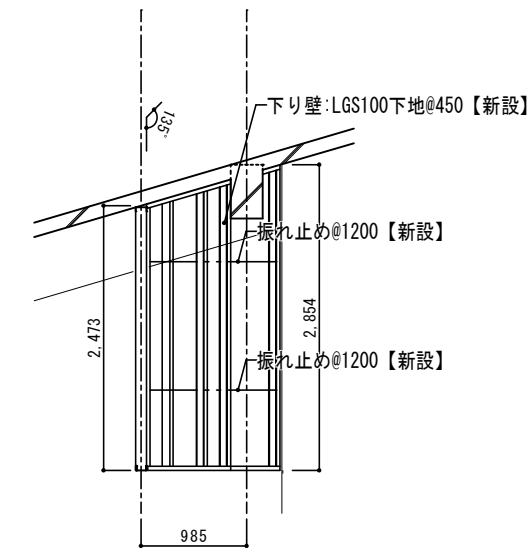




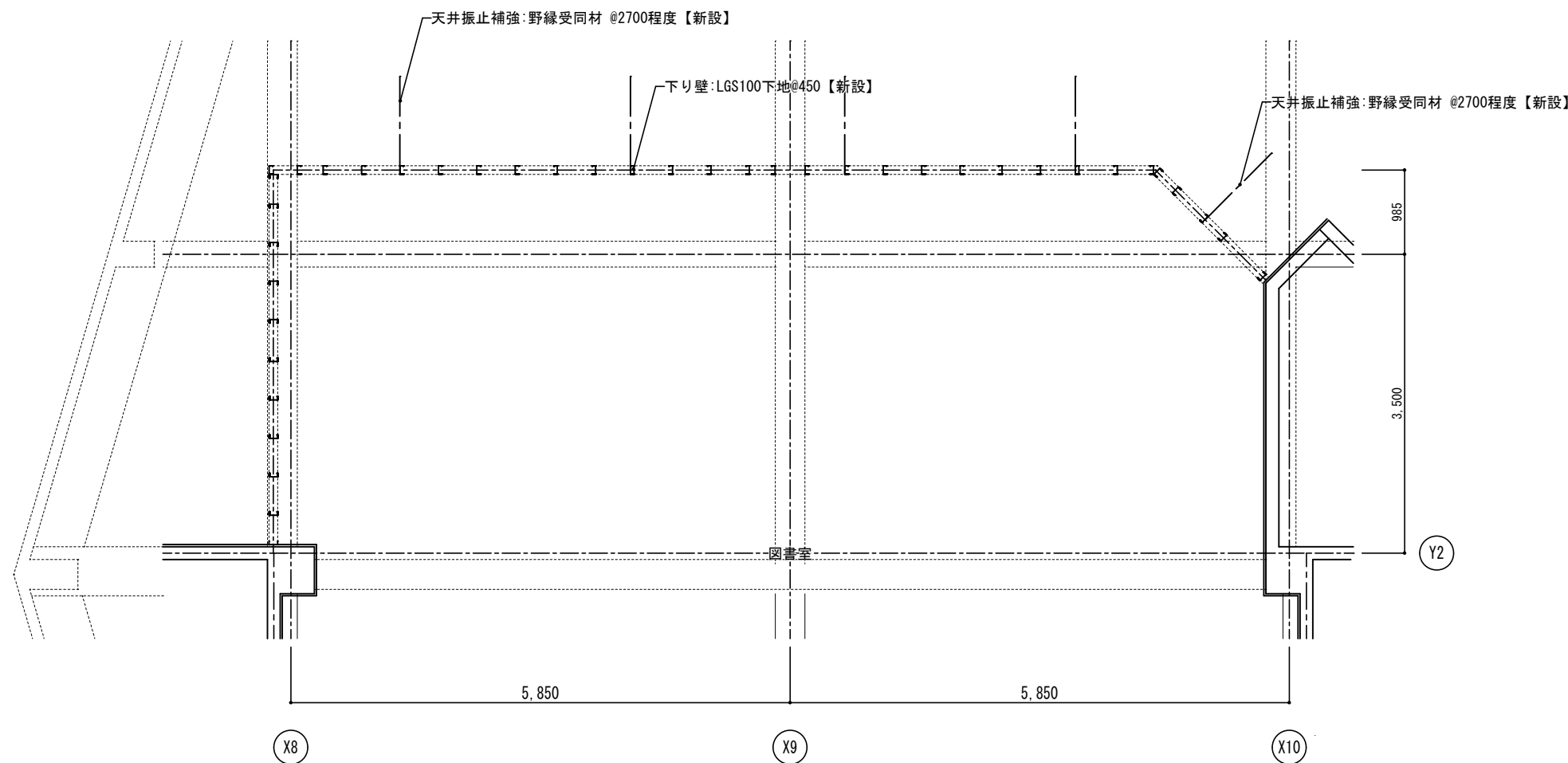
D面展開図 S=1:50



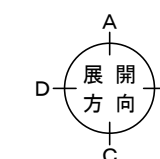
A面展開図 S=1:50



B面展開図 S=1:50



天井伏図 S=1:50




令和5年度向洋中学校図書室改修工事

設計図

図面名 改修後  
図書室 下り壁下地図(参考)

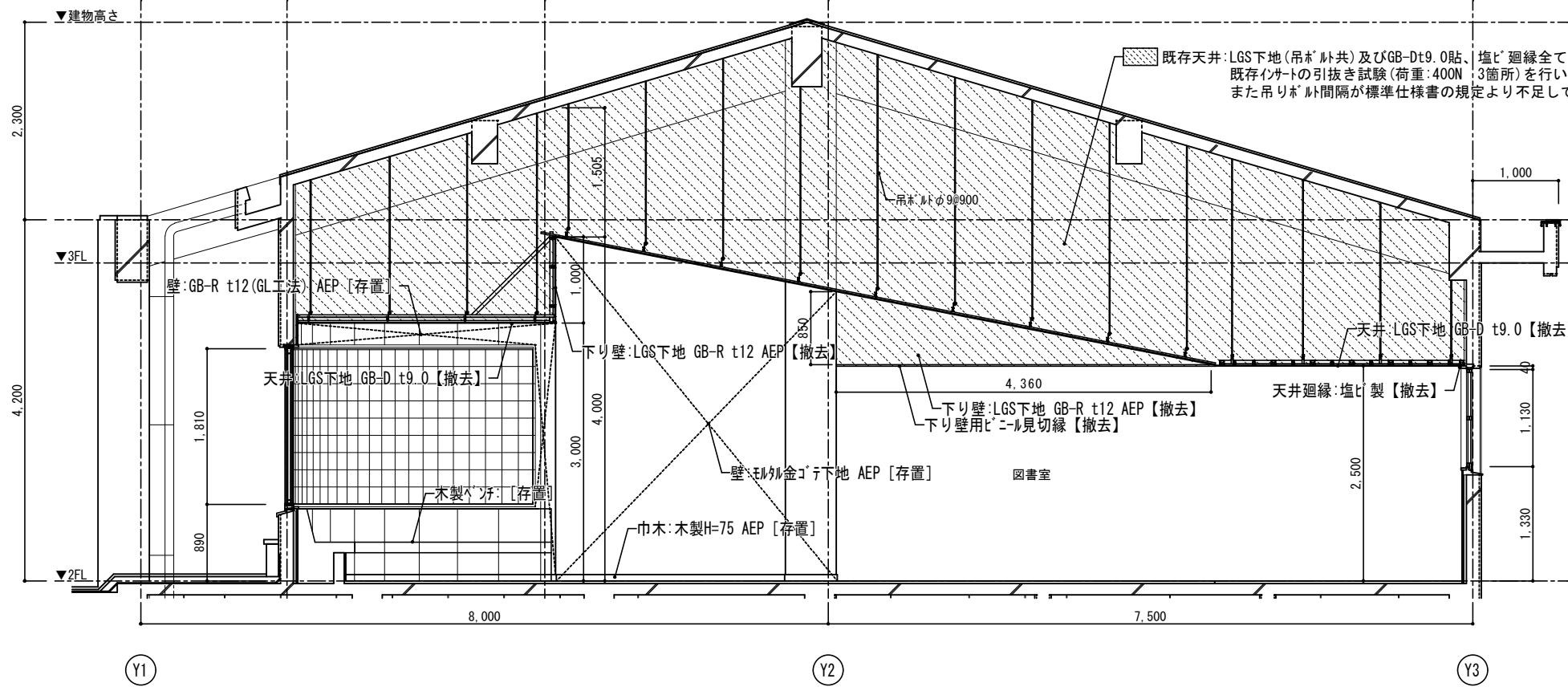
縮尺 S=1:50 (A4版 50%縮小)

図面種別

A

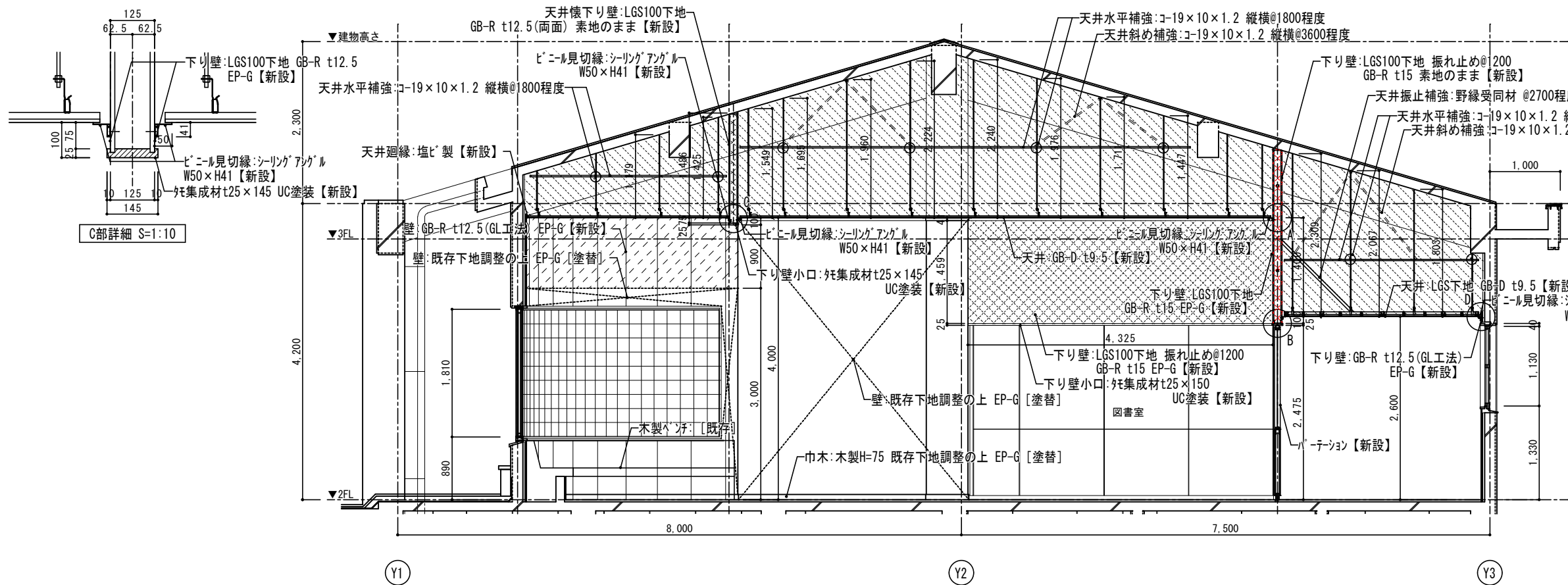
図面番号

11



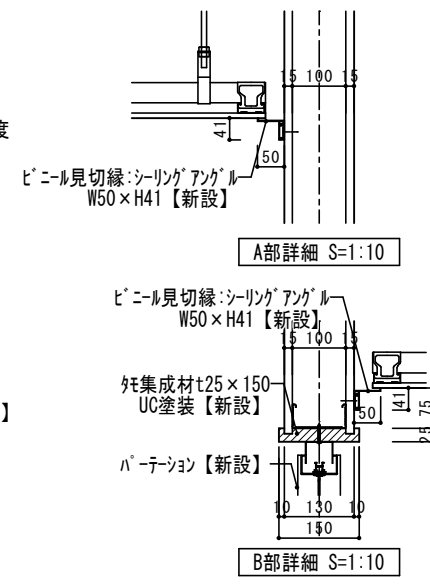
A-A' 断面詳細図 S=1:50

凡例  
 LGS下地及びGB-D t9.0貼【撤去】  
 天井廻縁: 塩ビ製【撤去】



A-A' 断面詳細図 S=1:50

凡例  
 天井: LGS下地及びGB-D t9.5貼【新設】  
 下り壁: 防火上主要な間仕切り LGS下地 GB-R t15(両面)【新設】 建設省告示第1358号第1項一号ハ-(1)-(ii) 図書室側のみ EP-G塗装【新設】  
 下り壁: LGS下地 GB-R t12.5(両面)【新設】  
 GB-R t12.5(GL工法) EP-G【新設】

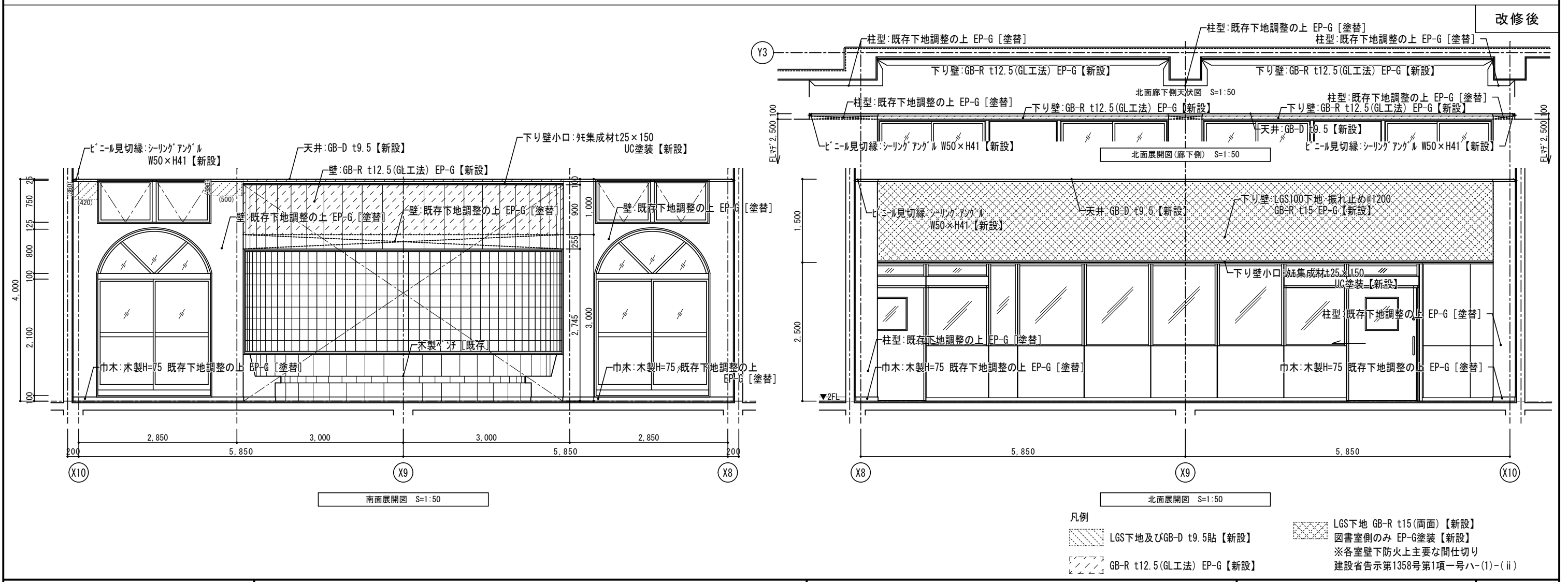
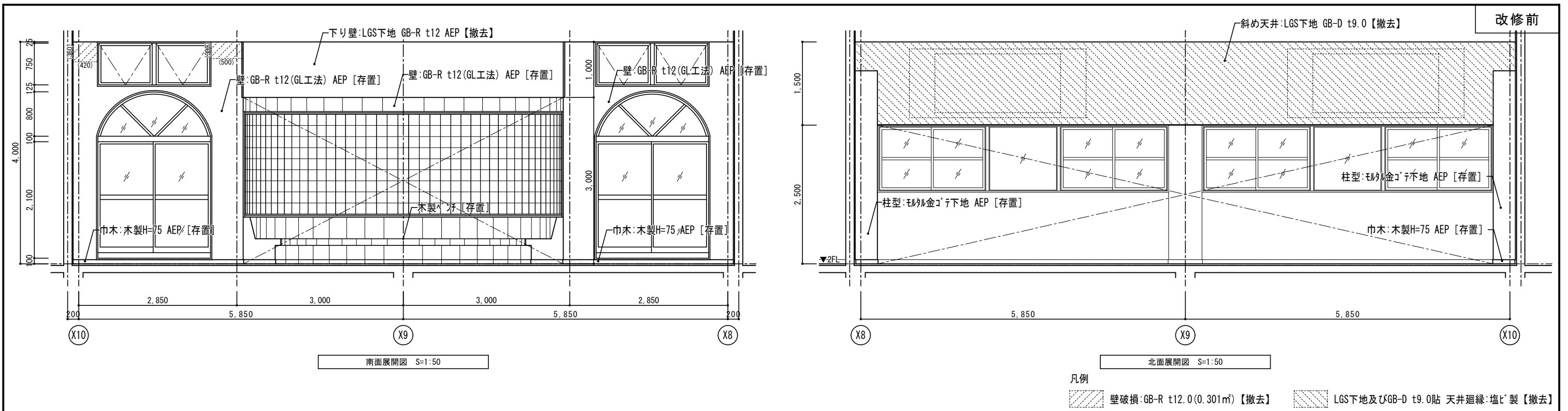


C部詳細 S=1:10

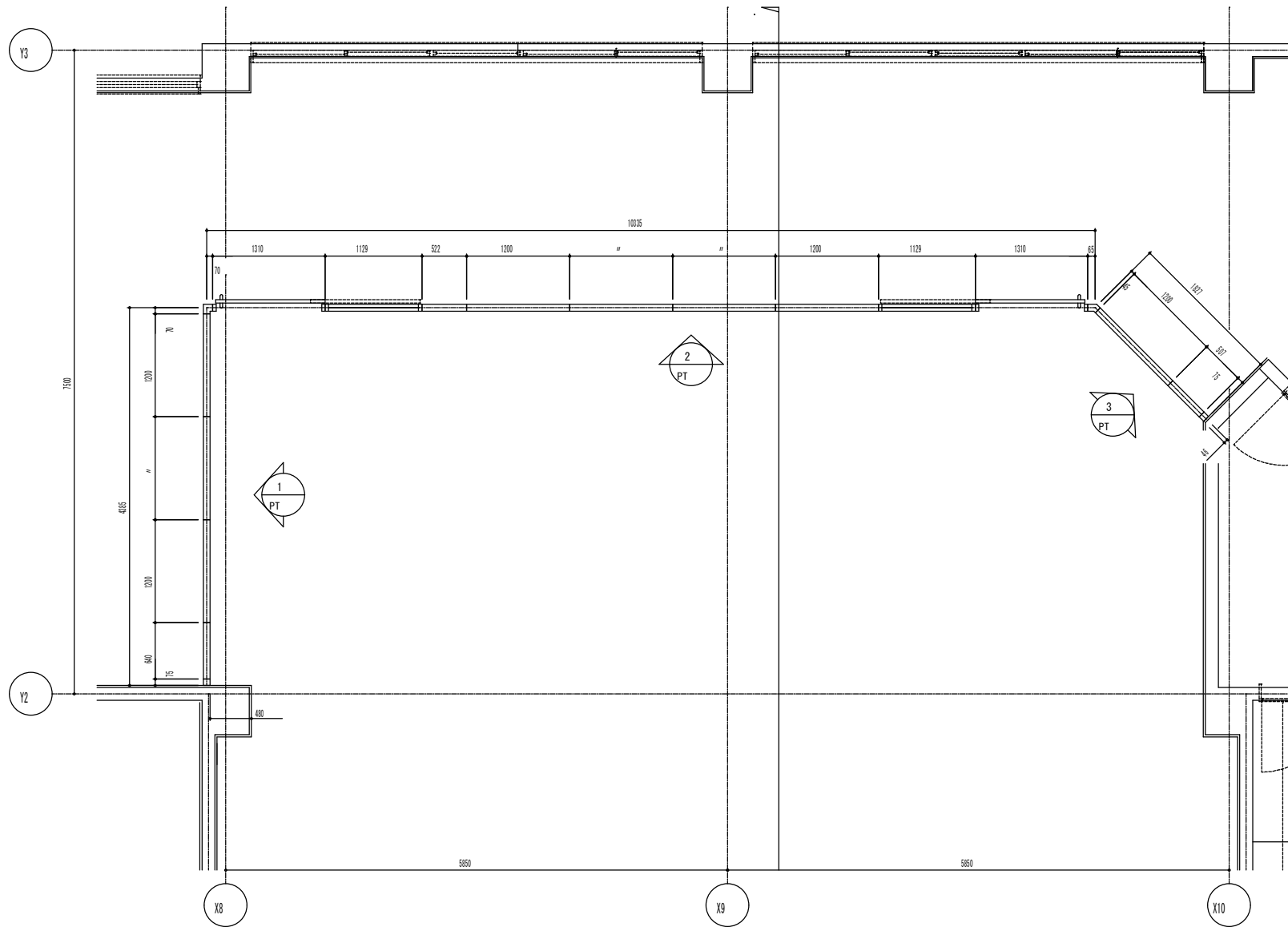
令和5年度向洋中学校図書室改修工事		設計図	図面名 改修前・後 図書室 断面詳細図(1)	図面種別 A
			縮尺 S=1:50(A4版 50%縮小)	図面番号 12







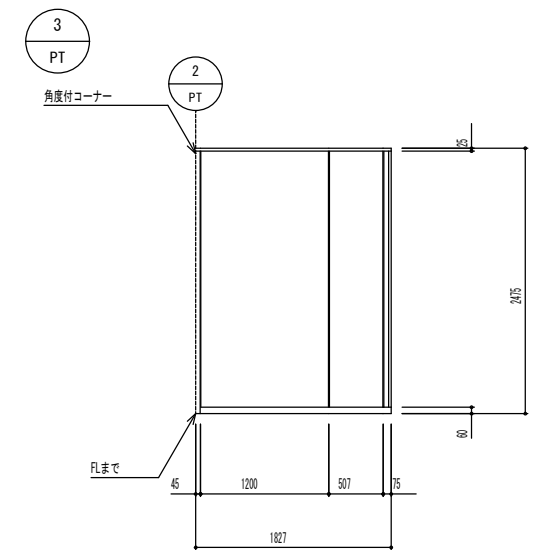
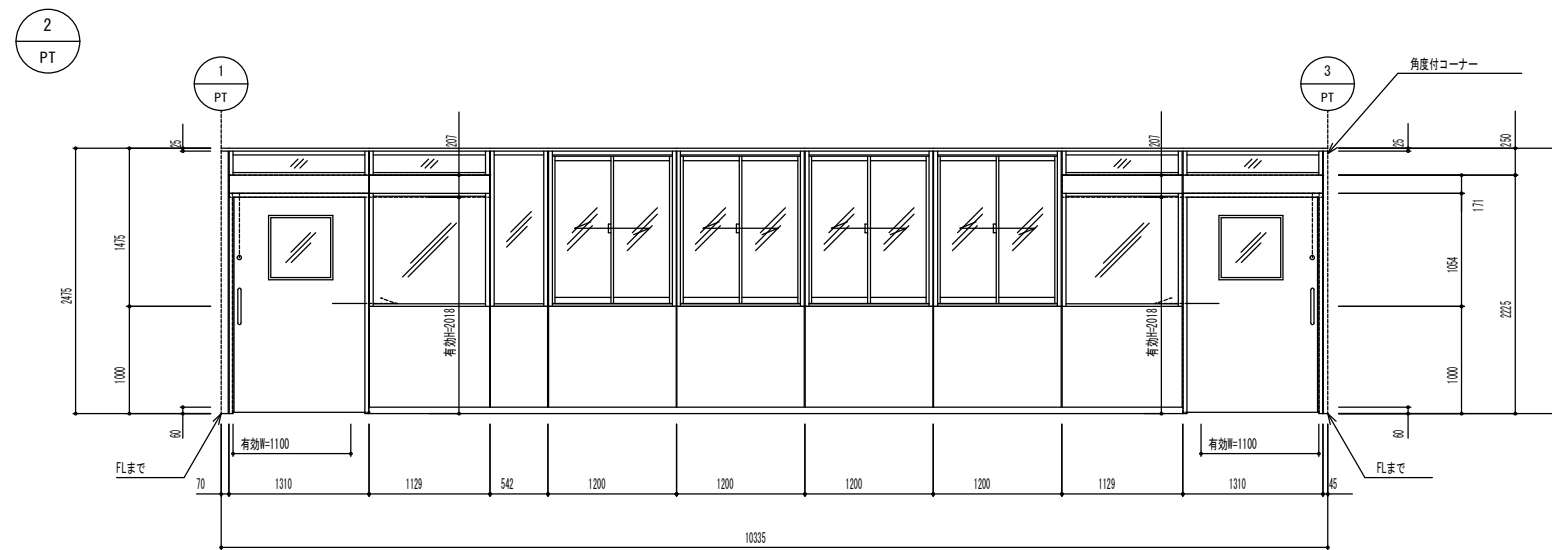
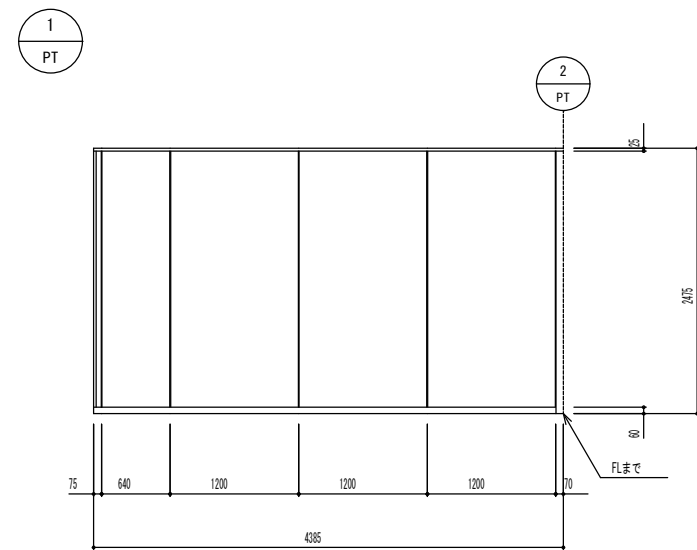
令和5年度向洋中学校図書室改修工事	設計図	図面名	改修前・後 図書室 展開図	図面種別	A
		縮尺	S=1:50 (A4版 50%縮小)	図面番号	14



◇仕様表

(小松ウオール マイティ-L x 80SP Nキャッチドア同等品)

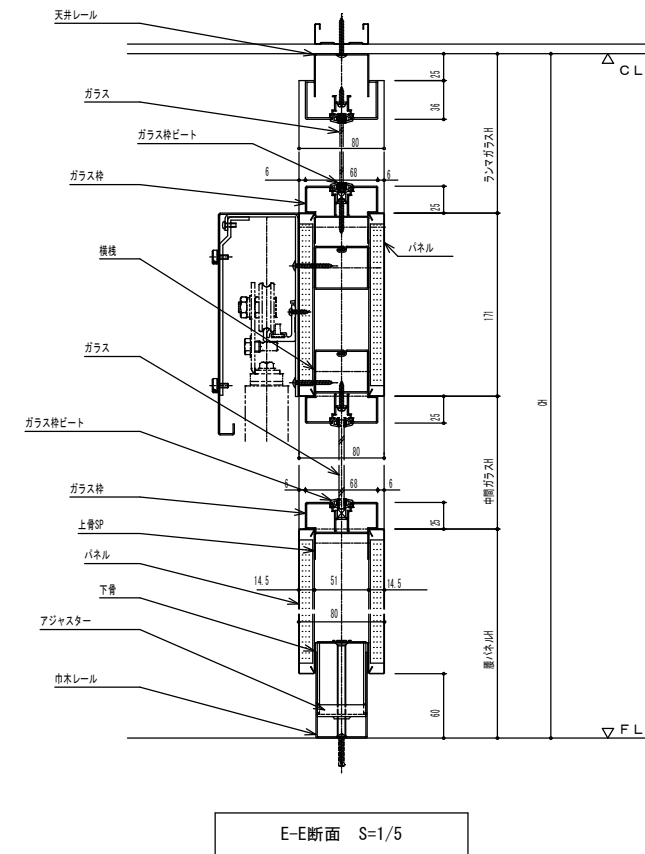
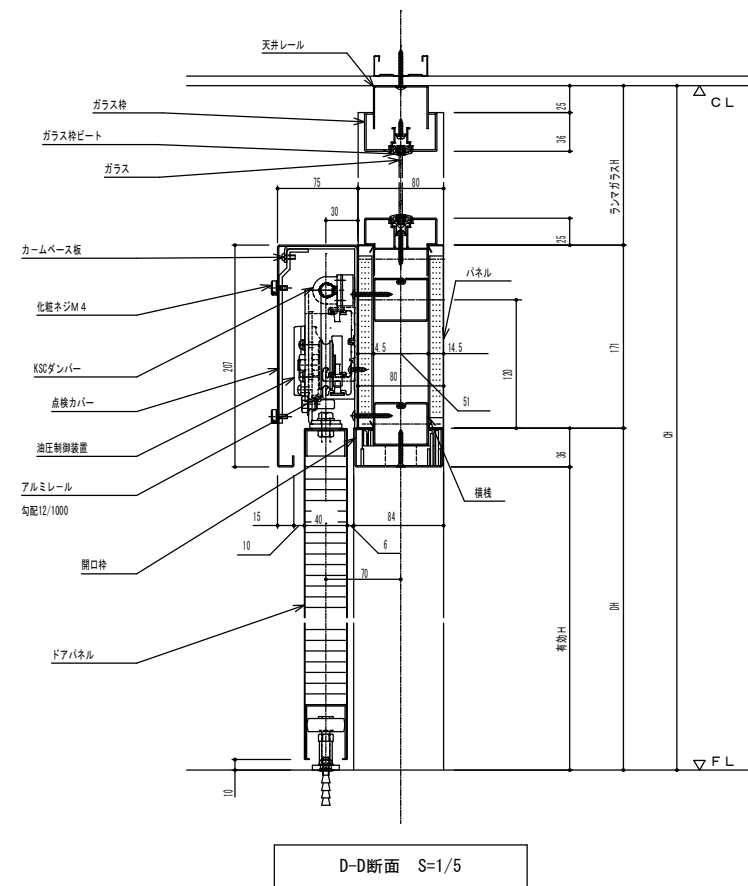
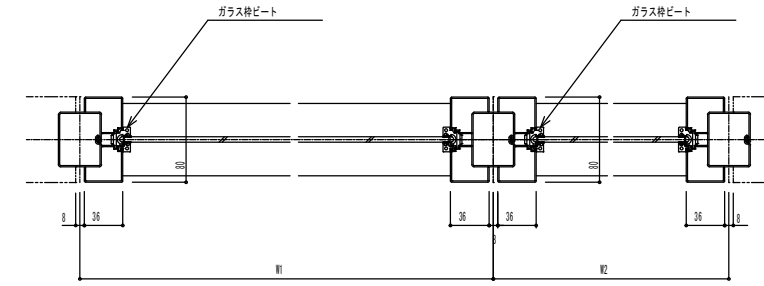
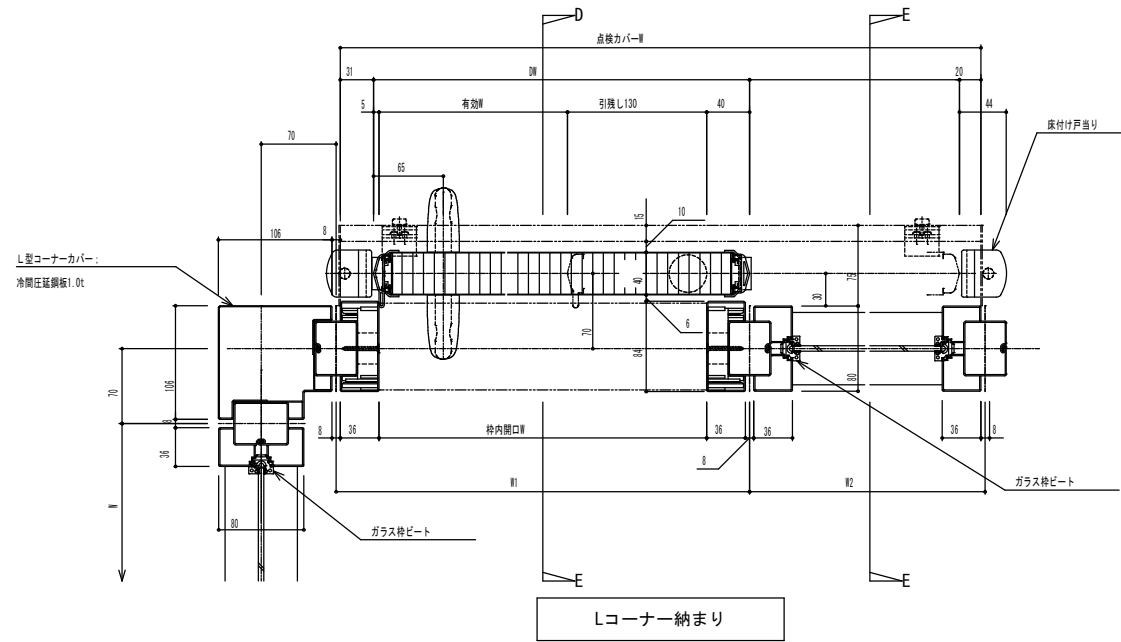
項目	部材	材料(板厚mm)	項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	冷間圧延鋼板 1.0mm (指定色焼付塗装仕上)	戸	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (指定色焼付塗装仕上)
	巾木レール	冷間圧延鋼板 1.2mm (指定色焼付塗装仕上)		芯材	ペーパーコア
	上骨SP	亜鉛めっき鋼板 1.0mm		切芯	アルミ押出型材 (指定色焼付塗装仕上)
	上骨・下骨	亜鉛めっき鋼板 0.4mm		切芯ビード	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm (グレー色)
	ポール・横棧	冷間圧延鋼板 1.2mm (指定色焼付塗装仕上)		フロントゴム	ポリ塩化ビニル (ブラック色)
	壁面カバー	冷間圧延鋼板 1.0mm (指定色焼付塗装仕上)		ロック	美和 POSTE錠
枠	ガラス枠	アルミ押出型材 (指定色焼付塗装仕上)	戸当り	床付け戸当り	
	ガラス枠アタッチメント	アルミ押出型材 (指定色焼付塗装仕上)	引手	樹脂製引手	
	開口枠	冷間圧延鋼板 1.2mm (指定色焼付塗装仕上)	駆動	駆動方式	KSGダンパー
	オープン目地カバー	ポリ塩化ビニル		カムベース板	冷間圧延鋼板 2.3mm (防錆塗装仕上)
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (指定色焼付塗装仕上)	装置	アルミレール	アルミ押出型材 (アルマイト処理仕上)
	芯材	せっこうボード 12.5mm		ハンガー戸車	樹脂製戸車 ブラケットめっき仕上
サッシ			サッシ障子	アルミ押出型材 (アルマイトクリア処理仕上)	
			上・下レール	アルミ押出型材 (アルマイト処理仕上: シルバー色)	
			サッシ調整ガasket	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6.8mm (グレー色)	
			ガラス	透明スクリーンパネル4+飛散防止フィルム貼り	



平面図・展開図 S=1/50

	令和5年度向洋中学校図書室改修工事	設計図	図面名	図面種別
			ハーション詳細図(1) (参考)	A
			縮尺	図面番号
			S=1:50 (A4版 50%縮小)	15

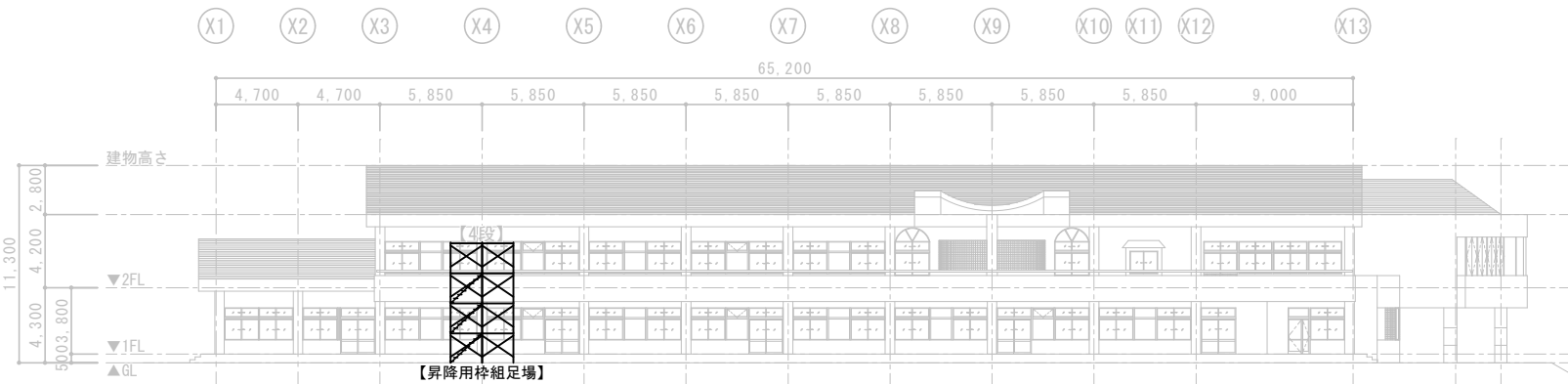




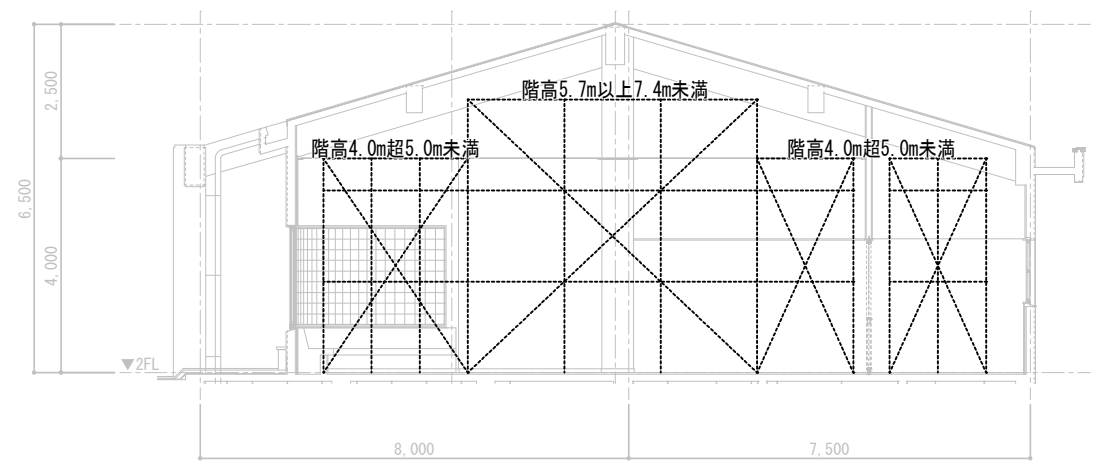
断面図 S=1/5

		令和5年度向洋中学校図書室改修工事	設計図	図面名 ハーターション詳細図(3) (参考)	図面種別 A
				縮尺 S=1:5 (A4版 50%縮小)	図面番号 17

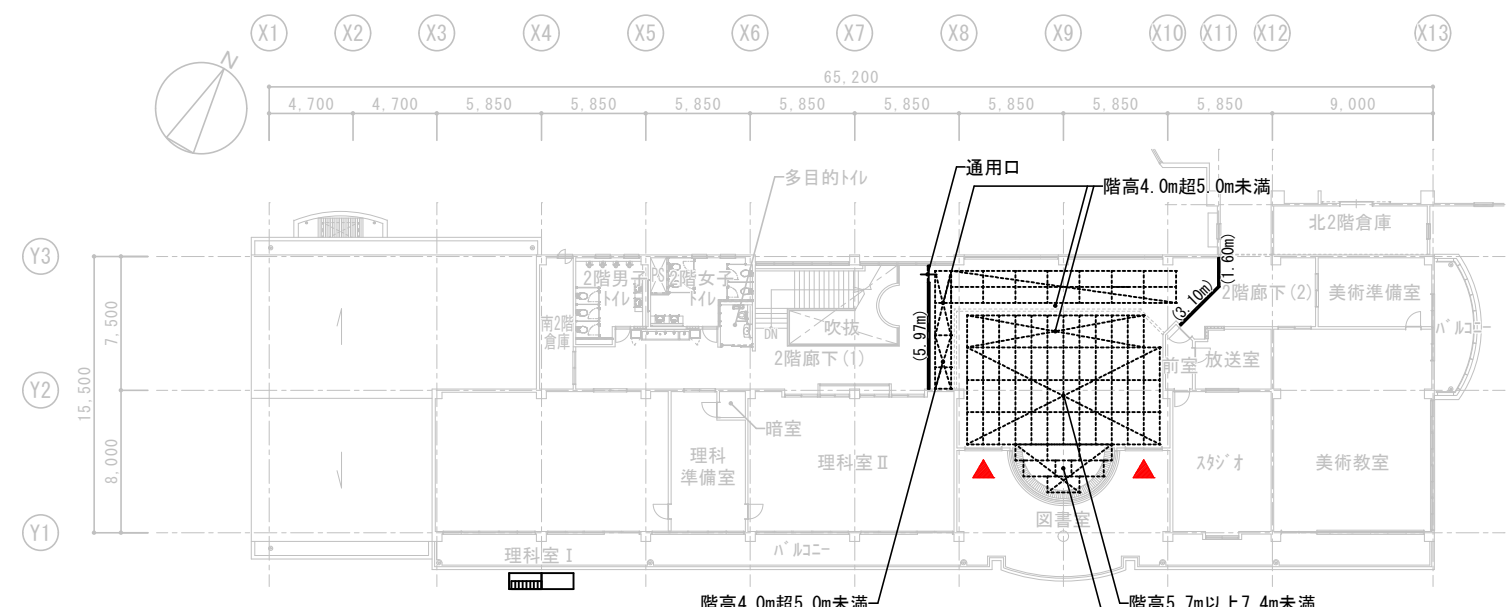




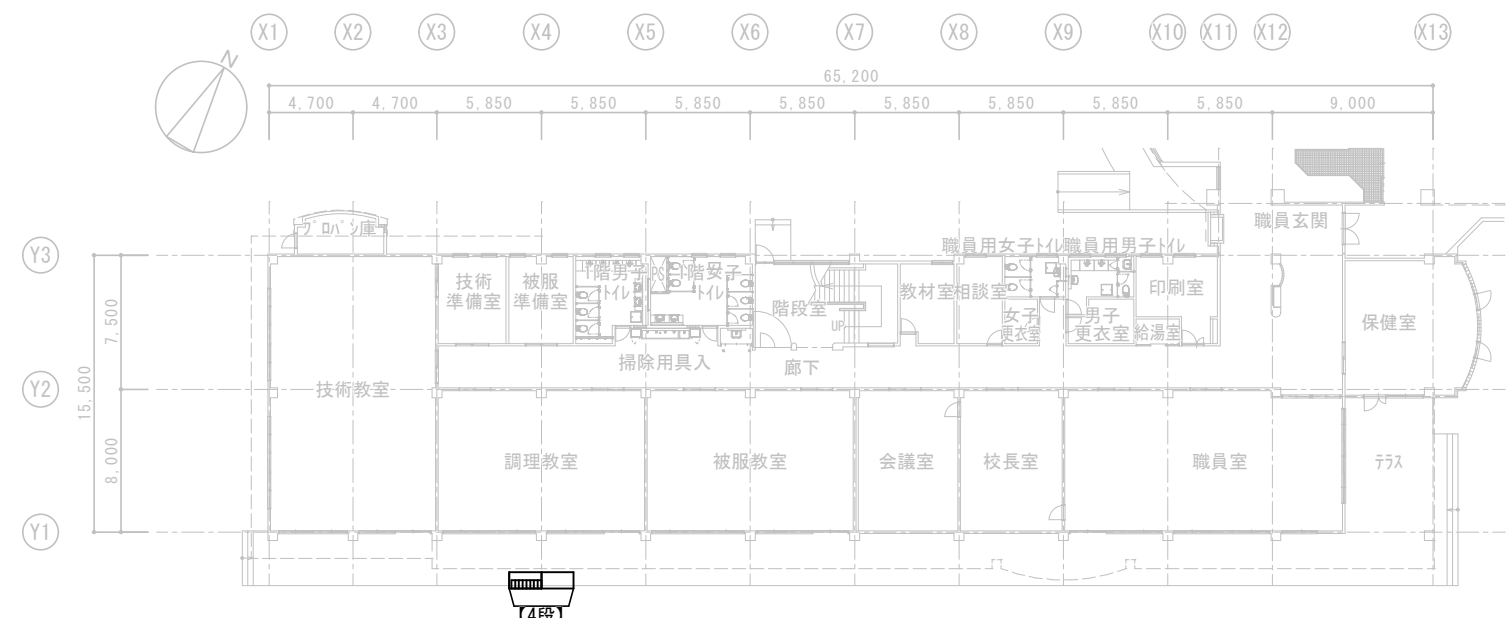
南側立面図 S=1:300  
昇降用枠組本足場(手摺先行枠組足場、W=900)メッシュシート共



参考断面図 S=1:100



2階平面図 S=1:300



1階平面図 S=1:300

- 特記事項(共通)
- 1) 着工前に工事範囲内の現状を確認すること。  
家具類・設備機器・備品などは工事前に学校関係者、監督員立会いの下、現状確認・動作確認を行うこと。  
工事に影響がある備品等については学校関係者、監督員と協議の上、移設等十分な養生を行うこと。
  - 2) 内部工事範囲部分の床・壁及び各部の養生を行うこと。
  - 3) 工事搬出入口は、2階バルコニー側からとする。
  - 4) その他、現地調査及び現況確認(躯体・仕上等を含む)を十分に行い、適切に工事を行うこと。
  - 5) 工事完了後は現状復旧(補修・クリーニングを含める)を行うこと。
  - 6) 工事着手にあたり、総合仮設計画図を提出し、監督員の承諾を得ること。
- ※当仮設計画は参考図とし、現場の状況に応じて、足場等を設置するなどして、施工上の都合に合せ適宜計画の上、施工すること。

- 凡例
- 仮設間仕切C種:L10.67×CH2.50(単管シート張り)
  - 四目目張テープ止め
  - 通用口
  - 昇降用枠組本足場(手摺先行枠組足場、W=900)メッシュシート共
  - ▨ 枠組棚足場
  - ▲ 工事搬入口

		令和5年度向洋中学校図書室改修工事	設計図	図面名 仮設計画図	図面種別 A
				縮尺 S=1:300(A4版 50%縮小)	図面番号 18

電気設備改修工事特記仕様書

1. 工事概要
1. 工事名 令和5年度向洋中学校図書室改修工事
2. 工事場所 宮城県宮城郡七ヶ浜町道山1丁目番地18号 地内
3. 建物概要

4. 工事項目 (○印のついたものを適用する。)
工種目別 建物別及び 工種目別
工種目別 建物別及び 工種目別

5. 指定部分
6. 概成工期
7. 特記仕様書

8. 特記事項
(1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁庁舎整備部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編、令和4年版) 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編、令和4年版)」及び国土交通大臣官庁官庁庁舎整備部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編、令和4年版)」による。

9. 適用標準等
10. 材料等
11. 材料の品質・性能証明
12. 採換
13. 屋用
14. 施工計画書・施工図等
15. 手続条件
16. 工事の一時中止
17. 工事継続情報の登録 (ORINS)
18. 事故報告
19. 電気保安技術者
20. 工事用電力、水、他
21. 工事用仮設物
22. 監督職員事務所
23. 足場、さん積機
24. 工事表示板
25. 発生材の処理等

26. 養生
27. 安全確保
28. 騒音・振動
29. 防汚対策
30. 照明
31. 防犯カメラ
32. 防犯センサー
33. 防犯センサー
34. 防犯センサー

35. 防犯カメラ
36. 防犯センサー
37. 防犯センサー
38. 防犯センサー
39. 防犯センサー
40. 防犯センサー

他工事との工事区分
26. 保護、結露防止
27. 電線類
28. 合成樹脂製可とう管
29. 二種金属製可とう管
30. 電線本数、管径など
31. インサート
32. 呼び線
33. フラッシュプレート
34. フロアプレート・ベース
35. ハンドホール蓋
36. 支持金物、固定金物
37. あと施工アンカー
38. 接地の種類・表示等

39. 総合調整
40. 塗装工事
41. 山留め
42. 錆止め
43. 再利用機器
44. 撤去後の修繕等
45. アスベスト
46. 有害物質の取り扱い

47. 工事範囲
48. 電気方式
49. 引込ケーブル
50. 配電盤
51. 主遮断装置
52. 高圧機器類
53. 変圧器
54. 進相用コンデンサ
55. リアクトル
56. 自動力率制御装置
57. 測定用補助接地極

58. 工事範囲
59. 形式
60. 電気方式
61. 原動機
62. 燃料
63. 太陽光発電装置
64. 系統連系
65. 交換機
66. 電話機への配線
67. ローションションアップレット(電卓形)
68. 保管用接地地

69. 工事範囲及び施工方法
70. 構内情報通信網設備
71. 情報表示設備
72. 映像・音響設備
73. 拡声設備
74. 誘導支援設備
75. テレビ共同受信設備
76. テレビ電源降音
77. 監視カメラ設備
78. 駐車管理設備
79. 防犯・入退室管理設備

80. 工事範囲
81. 火災報知装置
82. 非常警報装置
83. 自動閉鎖装置
84. ガス漏れ火災警報装置
85. 消火設備
86. その他

1. 工事範囲
2. 受電部
3. 避雷導線
4. 接地極
5. 測定用補助接地極

6. 機器類
7. 高圧
8. 低圧
9. 変圧器
10. 進相用コンデンサ
11. リアクトル
12. 自動力率制御装置
13. 測定用補助接地極

14. 電気方式
15. 引込ケーブル
16. 配電盤
17. 主遮断装置
18. 高圧機器類
19. 変圧器
20. 進相用コンデンサ
21. リアクトル
22. 自動力率制御装置
23. 測定用補助接地極

24. 工事範囲
25. 形式
26. 電気方式
27. 原動機
28. 燃料
29. 太陽光発電装置
30. 系統連系
31. 交換機
32. 電話機への配線
33. ローションションアップレット(電卓形)
34. 保管用接地地

35. 工事範囲及び施工方法
36. 構内情報通信網設備
37. 情報表示設備
38. 映像・音響設備
39. 拡声設備
40. 誘導支援設備
41. テレビ共同受信設備
42. テレビ電源降音
43. 監視カメラ設備
44. 駐車管理設備
45. 防犯・入退室管理設備

46. 工事範囲
47. 火災報知装置
48. 非常警報装置
49. 自動閉鎖装置
50. ガス漏れ火災警報装置
51. 消火設備
52. その他

1. 工事範囲
2. 監視制御対象設備
3. 表示操作盤
4. 監視制御装置

5. 工事範囲
6. 電気方式
7. 配線
8. 地上機器
9. 高圧ケーブルの結束処理
10. その他
11. 外灯設備
12. 汎用対策
13. 構造シート
14. 予備配線

15. 工事範囲
16. 用途
17. 施工方法
18. 構造シート

表2「機器取付高さ」
表3「完成書類」

表4「完成書類」

表5「完成書類」

### 改修概要

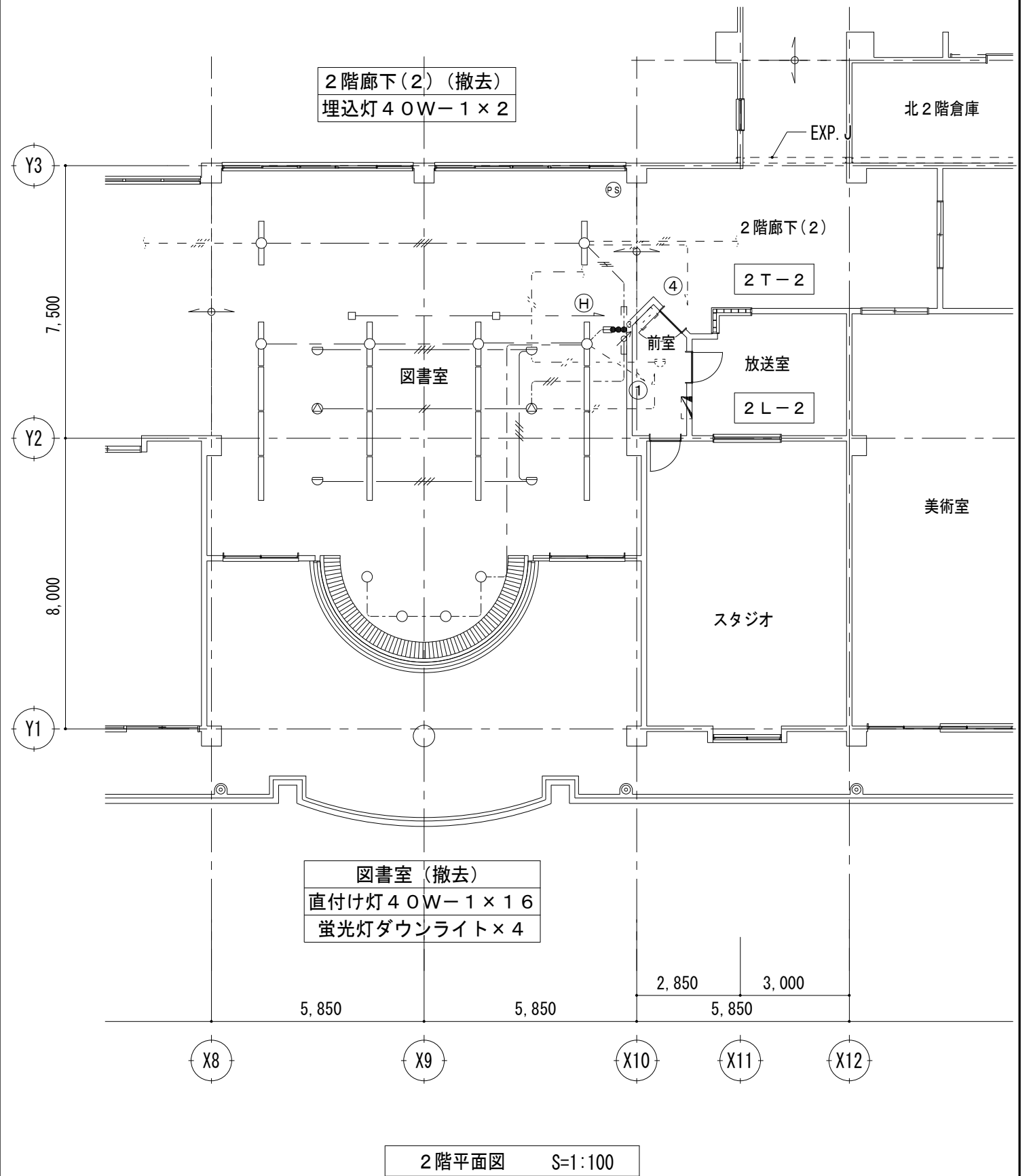
1. 図中の機器及び配管配線を全て撤去する。
2. 再使用する機器は取外し前に動作確認を行い再取り付け後も正常に動作する事を確認すること。
3. 再使用する配管配線は天井解体時に落下しない様に支持を行うこと。
4. 防犯設備に関する工事は学校が契約を行っている警備会社に施工を依頼すること。

### 凡例

記号	名称	備考
	電灯分電盤	改修対象外
	天井付け照明器具 位置ボックス無し	撤去・新設
	天井付け照明器具 位置ボックス有り	撤去・新設
	ダウンライト	撤去・新設
	埋込スイッチ1P15A×2+3W15A×1	取外し再取付
	端子盤	改修対象外
	天井埋込スピーカー	取外し再取付
	音量調節器	取外し再取付
	差動式スポット型感知器	取外し再取付
	暖房機電源用アウトレット	撤去
	防犯用空間センサー	取外し再取付

### 注記

1. 特記無き配管配線は下記とする。但し分電盤から第一ボックスの間は2.0とする。  
 - - - VVF1.6-3C(ころがし)  
 // HP1.2-2C(19)  
 /// HP1.2-3C(19)  
 - - - AEO.9-4C(19)
2. 配線器具の傍記「M」は一種金属線ぴスイッチボックスに取付を表す。



		令和5年度向洋中学校図書室改修工事	設計図	図面名 電気設備 2階改修図 (改修前)	図面種別 E
				縮尺 S=1:100 (A4版 50%縮小)	図面番号 02



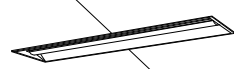
### 改修概要

1. 図中の機器及び配管配線を新設する。
2. 配線器具の傍記「M」は一種金属線び1個用スイッチボックスに取付を表す。

### 凡例

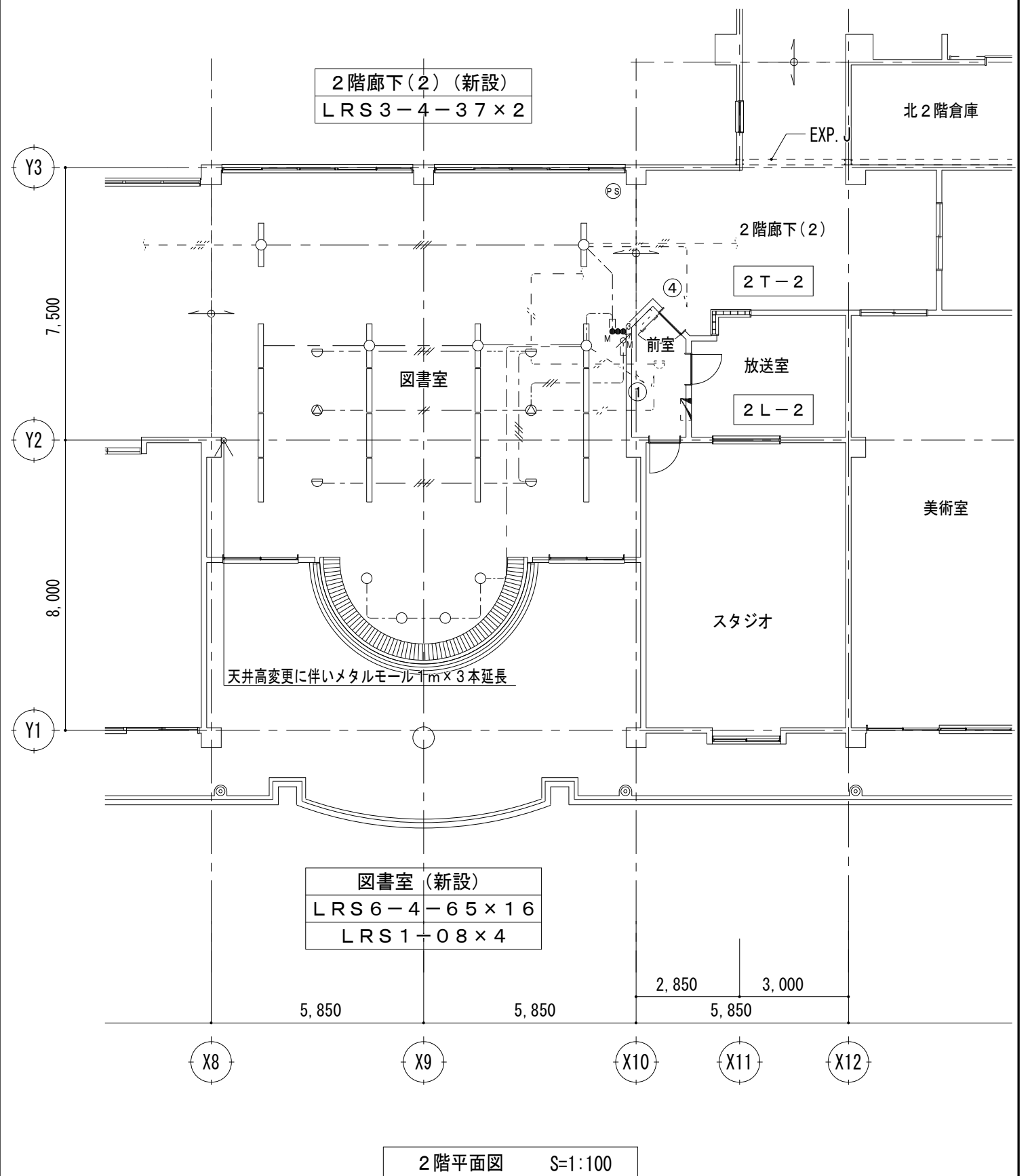
記号	名称	備考
	電灯分電盤	改修対象外
	天井付け照明器具 位置ボックス無し	撤去・新設
	天井付け照明器具 位置ボックス有り	撤去・新設
	ダウンライト	撤去・新設
	埋込スイッチ1P15A×2+3W15A×1	取外し再取付
	端子盤	改修対象外
	天井埋込スピーカー	取外し再取付
	音量調節器	取外し再取付
	差動式スポット型感知器	取外し再取付
	防犯用空間センサー	取外し再取付

### 照明器具姿図

 iDシリーズ直付型40形 スリムベース LRS6-4-65	 LEDダウンライト LRS1-08	 iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W220 LRS3-4-37
---	---	--

### 注記

1. 特記無き配管配線は下記とする。但し分電盤から第一ボックスの間は2.0とする。  
 - - - E - EM-EEF1.6-3C(ころがし)(MM1A)  
 - # - EM-HP1.2-2C(ころがし)  
 - - / - EM-HP1.2-3C(ころがし)(MM1A)  
 - / / - EM-AE0.9-4C(ころがし)
2. 配線器具の傍記「M」は一種金属線びスイッチボックスに取付を表す。



令和5年度向洋中学校図書室改修工事	設計図	図面名 電気設備 2階改修図 (改修後)	図面種別 E
		縮尺 S=1:100 (A4版 50%縮小)	図面番号 03

■暖房設備機器表（撤去）

記号	名称	仕様	台数	電源			設置場所	備考 [参考型番]
				相 φ	電圧 V	容量 kW		
OH-2	輻射暖房機	灯油焚天井埋込輻射暖房機 暖房能力：18,000 kcal/h 燃料消費量：2.0 L/h	2	1	100	37w	2F図書室	参考重量：170kg 400W×300H×17000L（囲い型）
VP-1	真空ポンプ （排気ファン）	天埋プレートターボファン 排気能力：90.8φ×100mmAg×5m3/min	2	1	100	200w	2F図書室	参考重量：4.0kg

（特記）

- 上記機器及び付属部材の（撤去）一式を行う。
- 上記に伴い、ダクト、配管、連絡配線の撤去を行う。
- 連絡配線撤去後は、他の暖房機器が正常に作動するように調整・確認すること。
- 配管・ダクト撤去後の貫通穴補修は本工事とする。（建築工事）

■凡例

記号	種類	仕様
OA	給気ダクト	スパイラルダクト100φ
EA	排気ダクト	ステンレスダクト100φ（RW50mm+7Lニガラクロス）
OS	送油管	配管用炭素鋼鋼管（黒）・機器接続部：銅管
※1	連絡配線	AE0.65-6C(19)、CVV2 <sup>□</sup> -3C(19)
※2	連絡配線	AE0.65-10P(25)
※3	連絡配線	IV2 <sup>□</sup> ×2+E2 <sup>□</sup> (19)
※4	通信配線	UL-2405 <sup>□</sup> 16(19)

細線：既存配管残置（撤去しない）  
 太線：配管撤去  
 〃〃：既存残置を示す  
 ※\*\*A：プラグ止め（閉塞）\*\*Aを示す

